

学校規模・配置の適正化計画策定に
当たっての基礎的資料

小樽市教育委員会

平成20年6月現在

目 次

	ページ
1、小樽市のこれまでの学校新設・廃止の経過	1
2、小樽市における最近の学校適正配置計画について	2
3、小樽市小・中学校適正配置計画 基本方針	3
4、小樽市小・中学校適正配置計画 実施方針	3
5、学級編制及び教職員配置の基準について	4
6、北海道における少人数学級	5
7、学校規模についての法令上の定義	5
8、小中学校 学級数・児童生徒数の推移 (S24～H20 実数)	6
9、小中学校 学級数・児童生徒数の推移 (H20～H26 推計)	7
10、小樽市における出生数及び人口の推移 (S24～H19)	7
11、出生数と児童生徒数の推移	8
12、小中学校学級数の推移	9
13、学級数規模別学校数の推移	10
14、学級数規模別学校区分一覧	11
15、平成20年度 学級編制表	12
16、学校別1学級当たりの平均児童生徒数 (平成20年度 普通学級)	13
17、学校別 [新入学]児童生徒数・学級数推計 (H20～H26 普通学級)	14
18、学校別 [新入学]児童生徒数・学級数推計 (H20～H26 普通学級 平成20年度北海道少人数学級実践研究事業適用)	15
19、学校別 児童生徒数・学級数推計 (H20～H26 普通学級)	16
20、学校別 児童生徒数・学級数推計 (H20～H26 普通学級 平成20年度北海道少人数学級実践研究事業適用)	17
21、出生率及び合計特殊出生率の推移	18
22、小樽市の3区分人口 (年少・生産年齢・老年) の推移	19
23、平成20年3月末 町別3区分人口	20
24、平成20年3月末 小樽市内の地区別年少人口の分布	21
25、人口の将来見通しについて	22
26、学校施設等の概要	23
27、指定小中学校の区域一覧 (小学校順)	25
28、小規模校に関する他都市の検討内容等	28
29、指定校変更・区域外就学状況	33
30、学校別 児童生徒数・学級数推移 (S24～H26普通学級)	34
31、地区別・学校別 児童生徒数推移 (直近20年)	37
32、1学級当たりの児童生徒数の区分に応じた学級数とその割合	43

1. 小樽市のこれまでの学校新設・廃止の経過

【昭和40年以降】

昭和44年3月 富岡小学校を廃止（稲穂小学校及び緑小学校に編入）

*S43 460人 12学級

昭和47年4月 幸小学校を新設 492人 14学級

昭和52年4月 桂岡小学校を新設 304人 10学級

昭和59年4月 望洋台小学校を新設 153人 6学級

平成2年3月 桃内小学校を廃止（忍路中央小学校へ統合）

*H元 17人 3学級

平成2年4月 望洋台中学校を新設 198人 6学級

平成14年3月 石山中学校を廃止（末広中学校及び西陵中学校に編入）

*H13 58人 2学級

同 東山中学校を廃止（青園中学校及び松ヶ枝中学校に編入）

*H13 55人 2学級

同 住吉中学校を廃止（青園中学校及び潮見台中学校に編入）

*H13 59人 2学級

平成18年3月 堺小学校を廃止（花園小学校及び稲穂小学校に編入）

*H17 57人 5学級

※平成16年4月 双葉中学校開校

（児童生徒数・学級数は各年度の5月1日現在/普通学級の数）

2. 小樽市における最近の学校適正配置計画について

平成11年2月	「小樽市小・中学校適正配置計画基本方針」を策定
平成11年8月	「小樽市小・中学校適正配置計画実施方針」を策定
平成11年10月	「小樽市小・中学校適正配置計画実施方針」の一部改正 (「中学校は学年進行で行う」を「全学年一斉に行う」に)
平成11年12月	「小樽市中学校適正配置計画実施計画(案)」を策定 ・学級規模は新1年生において3学級を標準 ・通学距離はおおむね3キロメートル以内 ・手宮地区では、石山中学校を隣接校に統合 ・中央地区等では、東山中学校及び住吉中学校を隣接校に統合 ・実施時期は、平成13年4月から全学年一斉に実施 ・受入校整備の中で、菁園中学校を改築
平成12年8月	「小樽市中学校適正配置計画実施計画」を策定 (案からの変更点) ・実施期日のうち、平成13年度第3学年は従前のままとし、13年度は学校を存続させ、廃止期日を延期 ・廃止校の13年度教職員配置について道教委と協議
	「小樽市小・中学校適正配置計画実施方針」の一部改正 (アンケート結果などを考慮して、「中学校は全学年一斉に行う」を年次で分ける表現に)
平成13年4月	実施計画に基づき中学校(3校)適正配置の実施(新1・2年生)
平成14年3月	実施計画に基づき中学校(3校)閉校
平成16年10月	「小樽市小学校適正配置計画実施計画(案)」を策定 ・学級規模は新1年生において2学級を標準 ・通学距離はおおむね2キロメートル以内 ・手宮地区では、北手宮小学校及び手宮小学校を隣接校に統合 ・中央・南小樽地区では、堺小学校及び量徳小学校を隣接校に統合 ・実施期日は、平成18年4月からとし、全学年一斉に実施 ・複式校については、特認校制度を検討
平成16年11月～平成17年6月	教育委員会主催説明会 延べ35会場 P T A等個別説明会 延べ5会場
平成17年7月	「小樽市小学校適正配置計画実施計画(案)」の一部変更 ・堺小学校を除く3校について、実施期日を1年延期
平成17年7月～9月	案変更に係る説明会 延べ5会場
平成17年9月	「小樽市小学校適正配置計画実施計画(案)の取下げ」及び「堺小学校の統合」を決定
平成17年9月～10月	取下げに係る説明会 3会場
平成18年3月	堺小学校閉校
平成18年7月	「小樽市立学校の規模・配置の在り方検討委員会」発足 ・同委員会が、教育長からの諮問を受け、「総合的な検討」を開始
平成19年10月	「市立小・中学校における学校規模及び学校配置の在り方について」(答申)がまとめられる

3. 小樽市小・中学校適正配置計画基本方針

制 定 平成11年 2月26日

小樽市小・中学校適正配置計画基本方針は、適正な学級規模を有する学校の配置（以下「適正配置」という。）計画の策定に関し必要な基本的事項を定めることを目的とする。

記

1. 適正配置は、地域に根ざす新しい学校・特色ある学校づくりを目指し、もって、活力に満ちた学校・活力あふれる教育活動の実現を目指すものとする。
2. 適正配置は、児童生徒数の現状と今後の推移を踏まえ、通学区域の見直しにより行うものとする。
その際、地勢・交通事情・通学距離・通学時間等に配慮しながら検討する。
3. 適正配置における学校の学級規模については、学校教育法施行規則に規定する学級規模を勘案し検討する。
4. 適正配置後における校舎・校地の再利用については、検討委員会を設置し、その有効活用について検討する。
5. 適正配置は、基本方針策定後、引き続き、実施方針・実施計画を策定し、関係団体、地域等の理解と協力を得ながら計画的に実施する。

4. 小樽市小・中学校適正配置計画実施方針

制 定 平成11年 8月18日
一部改正 平成11年10月29日
一部改正 平成12年 8月 2日

小・中学校適正配置計画実施方針は、適正配置計画実施計画の策定に必要な実施方針を定めることを目的とし、次のとおり定める

記

1. 適正配置は、小・中学校において、標準学級に満たない、比較的学級数の少ない学校を対象とし、学校の配置状況、児童生徒数の現状等を踏まえ、通学区域の見直しにより行う。
2. 適正配置は、新一年生における学級規模を、小学校においては2学級、中学校においては3学級を標準として行うものとする。
3. 通学区域は、通学路の安全性、通学時間等を考慮するとともに、通学距離は、概ね小学校は4キロメートル、中学校は6キロメートルを超えない範囲で見直しを行う。
4. 適正配置は、小学校は全学年一斉に、中学校においては次のとおりとする。
(1) 新1年生（現小6）は、平成13年4月1日から受入校に入学。
(2) 2年生（現中1）は、平成13年4月1日から受入校に学校が変更。
(3) 3年生（現中2）は、現在の学校で卒業。
※ 平成11年10月29日及び平成12年8月2日一部改正
5. 適正配置に伴う校舎等の跡利用については、検討委員会を設置し、その有効活用に努める。
6. 実施計画は、平成11年度から年次的に策定するとともに、関係団体、地域等の理解と協力を得ながら、平成13年度から計画的に実施する。

5. 学級編制及び教職員配置の基準について

○公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律

第3条 公立の義務教育諸学校の学級は、同学年の児童又は生徒で編制するものとする。ただし、当該義務教育諸学校の児童又は生徒の数が著しく少ないかその他特別の事情がある場合においては、政令で定めるところにより、数学年の児童又は生徒を1学級に編制することができる。

1. 学級編制基準

◇小学校

単式学級	40人以下
	(2の学年の計)
複式学級	16人以下
1年生を含む場合	8人以下
特別支援学級	8人以下

* 単式学級 同学年の児童生徒で編制する学級

* 複式学級 2の学年の児童生徒で編制する学級

* 特別支援学級

学校教育法第75条に規定する特別支援学級

◇中学校

単式学級	40人以下
	(2の学年の計)
複式学級	8人以下
特別支援学級	8人以下

2. 教職員定数配置基準 (普通学級の場合)

【校長及び教員】

下表の配置数は、校長1人を含み、教頭及び教諭等の合計

◇小学校

学級規模	1	2	3				4	5	6		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
			単置校		併置校				100以下	101以上																			
	15人以下	16~37人	38人以上	37人以下	38人以上																								
配置数	2	3	4	5	5	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	28	29

(人)

◇中学校

学級規模	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	単置校	併置校																			
配置数	4	3	6	9	9	10	11	13	15	16	18	20	21	22	23	25	26	28	30	31	33

(人)

* 養護教諭、事務職員等は別の基準による

6. 北海道における少人数学級

学級編制の弾力化の観点から、児童生徒の実態等を考慮して、全県一律に国の標準（40人）を下回る一般的な学級編制基準を設定することが可能になっており、平成17年度においては、45道府県において、小学校の低学年を中心に40人を下回る少人数学級が実施されています。

北海道においては、平成16年度から「少人数学級実践研究事業」として、小学校第1学年を対象に採り入れ、平成17年度は小学校第1・2学年に拡大し、さらに平成18年度からは、小学校第1・2学年、中学校第1学年で少人数学級を実施しています。

- ◆実施対象 対象学年の学級数が2学級以上で、1学級当たりの児童生徒数が35人を超える学校

学級編制の例 (人)

学級数	1	2	3	4
標準法の基準	0～40	41～80	81～120	121～160
北海道の少人数学級	0～40	41～70	71～105	106～140

- ◆本市の対象校（平成20年度）

○小学校

桜小学校 第1学年 73人→3学級

○中学校

長橋中学校 第1学年113人→4学級

青園中学校 第1学年114人→4学級

松ヶ枝中学校 第1学年 77人→3学級

（在籍数は5月1日現在）

7. 学校規模についての法令上の定義

○学校教育法施行規則

第17条 小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りではない。

（第55条で中学校に準用する旨を規定）

○義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令

第4条 法第3条第1項第4号*の適正な規模の条件は、次の各号に掲げるものとする。

- 1 学級数がおおむね12学級から18学級までであること。
- 2 通学距離が、小学校にあってはおおむね4キロメートル以内、中学校にあってはおおむね6キロメートル以内であること。

*法第3条第1項第4号（義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律～国の負担）

公立の小学校及び中学校を適正な規模にするため統合しようとするに伴って必要となり、又は統合したことに伴って必要となった校舎又は屋内運動場の新築又は増築に要する経費 2分の1

8. 小中学校 学級数・児童生徒数の推移 (S24~H20 実数)

年度	小 学 校							中 学 校							合 計	
	学校数	普通学級		特別支援学級		計		学校数	普通学級		特別支援学級		計		学級数	児童・生徒数
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数		
24	20	405	22,339			405	22,339	12	184	9,894			184	9,894	589	32,233
26	20	455	23,649			455	23,649	12	187	10,065			187	10,065	642	33,714
28	22	460	23,728			460	23,728	12	204	10,670			204	10,670	664	34,398
30	22	500	25,849			500	25,849	13	230	12,319			230	12,319	730	38,168
32	23	530	27,415			530	27,415	13	235	12,040			235	12,040	765	39,455
※33	26	573	29,363			573	29,363	15	243	11,696			243	11,696	816	41,059
34	27	565	28,521	1	15	566	28,536	15	241	11,565			241	11,565	807	40,101
35	27	541	26,630	3	41	544	26,671	15	265	12,927			265	12,927	809	39,598
36	27	504	24,404	3	31	507	24,435	15	298	15,022	1	9	299	15,031	806	39,466
37	27	473	21,773	3	35	476	21,808	16	326	15,974	2	17	328	15,991	804	37,799
38	27	464	20,186	3	24	467	20,210	16	317	15,242	2	29	319	15,271	786	35,481
39	27	463	19,030	4	33	467	19,063	16	306	13,901	2	28	308	13,929	775	32,992
40	27	457	18,022	5	33	462	18,055	16	281	12,162	3	33	284	12,195	746	30,250
41	27	451	17,378	5	29	456	17,407	16	257	11,019	4	44	261	11,063	717	28,470
42	27	448	16,788	7	55	455	16,843	16	246	10,118	4	41	250	10,159	705	27,002
43	27	446	16,369	6	48	452	16,417	16	232	9,349	4	41	236	9,390	688	25,807
44	26	446	16,371	7	50	453	16,421	16	222	8,735	5	50	227	8,785	680	25,206
45	26	446	16,225	8	62	454	16,287	16	209	8,183	5	55	214	8,238	668	24,525
46	26	449	16,143	8	54	457	16,197	16	202	7,969	7	62	209	8,031	666	24,228
47	27	445	15,857	8	59	453	15,916	16	200	7,857	7	55	207	7,912	660	23,828
48	27	439	15,586	10	81	449	15,667	16	198	7,786	7	58	205	7,844	654	23,511
49	27	445	15,766	16	108	461	15,874	16	196	7,682	8	59	204	7,741	665	23,615
50	27	440	15,746	16	114	456	15,860	16	200	7,724	10	64	210	7,788	666	23,648
51	27	436	15,659	17	124	453	15,783	16	200	7,836	8	51	208	7,887	661	23,670
52	28	438	15,743	18	139	456	15,882	16	204	7,927	8	42	212	7,969	668	23,851
53	28	444	15,898	18	141	462	16,039	16	201	7,826	8	45	209	7,871	671	23,910
54	28	452	16,370	21	121	473	16,491	16	194	7,536	7	42	201	7,578	674	24,069
55	28	453	16,251	21	123	474	16,374	16	197	7,609	9	49	206	7,658	680	24,032
56	28	452	16,177	21	111	473	16,288	16	196	7,693	10	47	206	7,740	679	24,028
57	28	449	16,028	21	110	470	16,138	16	203	7,906	10	45	213	7,951	683	24,089
58	28	439	15,750	21	105	460	15,855	16	200	7,836	10	45	210	7,881	670	23,736
59	29	431	15,274	22	102	453	15,376	16	202	7,861	10	35	212	7,896	665	23,272
60	29	408	14,553	21	92	429	14,645	16	205	8,053	10	37	215	8,090	644	22,735
61	29	396	13,737	22	99	418	13,836	16	207	8,130	9	32	216	8,162	634	21,998
62	29	378	12,881	22	87	400	12,968	16	202	8,061	9	38	211	8,099	611	21,067
63	29	366	12,122	22	81	388	12,203	16	192	7,670	8	35	200	7,705	588	19,908
元	29	356	11,461	20	82	376	11,543	16	189	7,302	8	33	197	7,335	573	18,878
2	28	346	10,898	21	84	367	10,982	17	188	6,933	8	25	196	6,958	563	17,940
3	28	342	10,346	21	83	363	10,429	17	190	6,664	9	31	199	6,695	562	17,124
4	28	334	9,856	21	74	355	9,930	17	184	6,291	8	27	192	6,318	547	16,248
5	28	326	9,488	23	82	349	9,570	17	177	5,899	8	22	185	5,921	534	15,491
6	28	315	9,034	24	80	339	9,114	17	166	5,515	7	16	173	5,531	512	14,645
7	28	302	8,576	24	85	326	8,661	17	157	5,289	8	16	165	5,305	491	13,966
8	28	291	8,146	25	85	316	8,231	17	148	5,121	9	20	157	5,141	473	13,372
9	28	281	7,776	18	39	299	7,815	17	144	4,923	10	25	154	4,948	453	12,763
10	28	273	7,489	20	39	293	7,528	17	138	4,629	9	26	147	4,655	440	12,183
11	28	258	7,198	19	36	277	7,234	17	133	4,385	11	29	144	4,414	421	11,648
12	28	251	7,022	20	37	271	7,059	17	126	4,123	12	29	138	4,152	409	11,211
13	28	250	6,879	28	51	278	6,930	17	124	3,946	11	24	135	3,970	413	10,900
14	28	245	6,726	29	45	274	6,771	14	117	3,713	14	26	131	3,739	405	10,510
15	28	237	6,586	31	48	268	6,634	14	114	3,590	12	20	126	3,610	394	10,244
16	28	241	6,454	28	46	269	6,500	14	107	3,417	14	26	121	3,443	390	9,943
17	28	235	6,315	31	50	266	6,365	14	102	3,324	18	27	120	3,351	386	9,716
18	27	223	6,155	34	55	257	6,210	14	101	3,197	21	36	122	3,233	379	9,443
19	27	220	5,942	39	55	259	5,997	14	102	3,161	22	38	124	3,199	383	9,196
20	27	215	5,785	43	64	258	5,849	14	101	3,067	23	40	124	3,107	382	8,956

※ 昭和33年4月、塩谷村との合併により、小学校3校(塩谷・桃内・忍路中央)・中学校2校(塩谷・忍路)を本市へ編入

※ 平成18年度以前の「特別支援学級」の欄は、平成19年4月以前の特殊学級を指す

9. 小中学校 学級数・児童生徒数の推移（H21～H26 推計）

年度	小 学 校								中 学 校						合 計	
	学校数	普通学級		特別支援学級		計		学校数	普通学級		特別支援学級		計		学級数	児童・生徒数
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数		
推計値① <1学級当たり40人以下として推計>																
21	27	214	5,728	43	64	257	5,792	14	96	3,048	20	33	116	3,081	373	8,873
22	27	213	5,568	43	63	256	5,631	14	95	3,052	19	30	114	3,082	370	8,713
23	27	208	5,375	43	62	251	5,437	14	94	3,031	24	34	118	3,065	369	8,502
24	27	201	5,216	43	62	244	5,278	14	94	2,967	25	35	119	3,002	363	8,280
25	27	198	5,089	43	62	241	5,151	14	91	2,851	22	31	113	2,882	354	8,033
26	27	192	4,926	42	61	234	4,987	14	92	2,794	23	30	115	2,824	349	7,811
推計値② <北海道における平成20年度少人数学級実践研究事業を適用し、小学校1・2年生及び中学校1年生は、1学級当たり35人以下で、その他の学年は1学級あたり40人以下とした>																
21	27	216	5,728	43	64	259	5,792	14	100	3,048	20	33	120	3,081	379	8,873
22	27	215	5,568	43	63	258	5,631	14	98	3,052	19	30	117	3,082	375	8,713
23	27	209	5,375	43	62	252	5,437	14	99	3,031	24	34	123	3,065	375	8,502
24	27	203	5,216	43	62	246	5,278	14	96	2,967	25	35	121	3,002	367	8,280
25	27	202	5,089	43	62	245	5,151	14	96	2,851	22	31	118	2,882	363	8,033
26	27	195	4,926	42	61	237	4,987	14	94	2,794	23	30	117	2,824	354	7,811

※ 平成21年度以降の児童生徒数は、平成19年度までの出生数に基づく推計値。

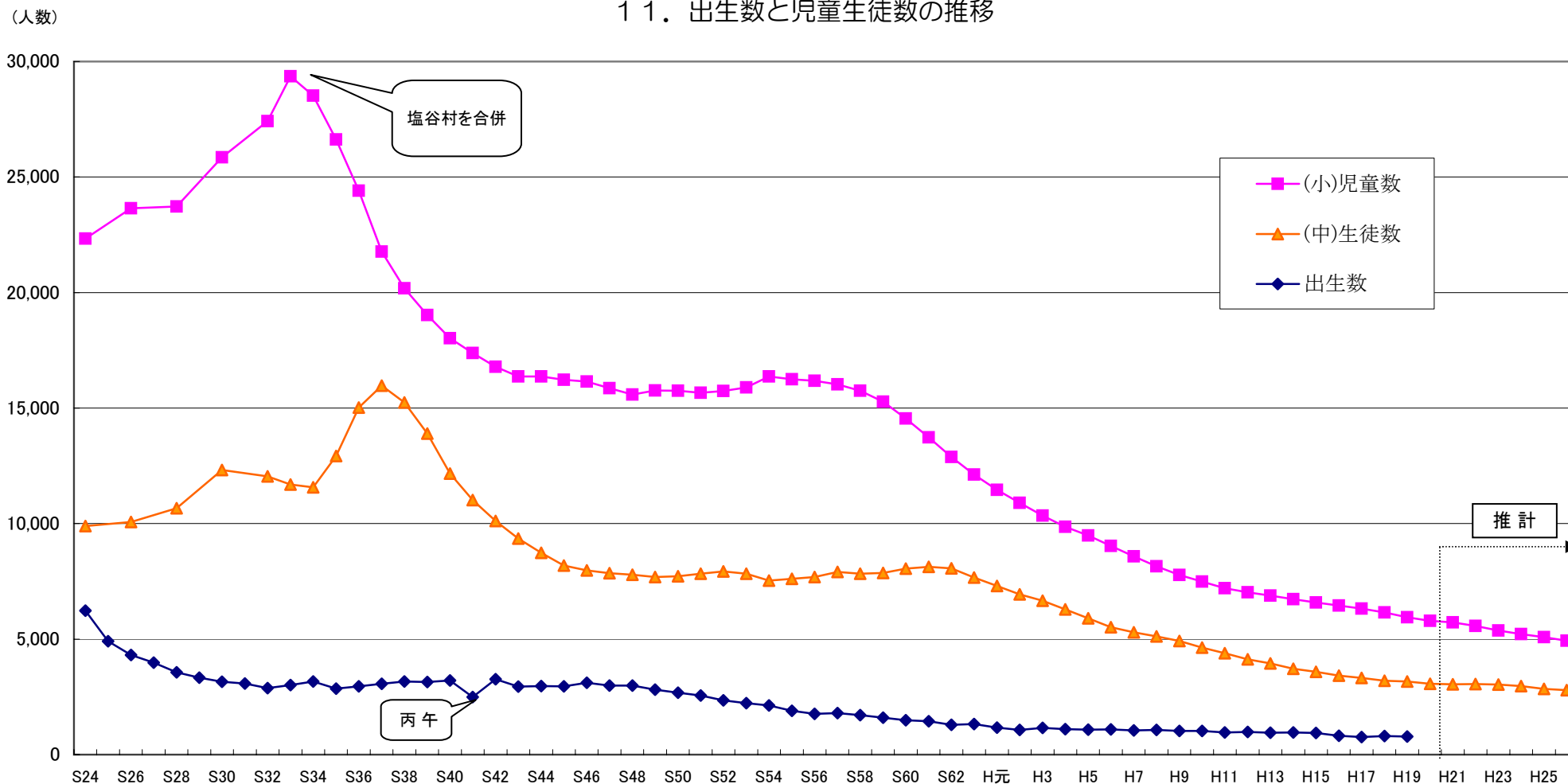
10. 小樽市における出生数及び人口の推移（S24～H19）

区分 年次	出生数	出生数増減率 (対前年比)	人 口	人口増減率 (対前年比)
	※1		※2	
昭和	24	6,234		
	25	4,912	△ 21.21	178,330
	26	4,317	△ 12.11	182,346
	27	3,977	△ 7.88	183,749
	28	3,559	△ 10.51	186,906
	29	3,330	△ 6.43	187,989
	30	3,150	△ 5.41	190,270
	31	3,077	△ 2.32	193,211
	32	2,880	△ 6.40	194,308
	33	3,007	4.41	203,486
	34	3,163	5.19	204,098
	35	2,852	△ 9.83	204,856
	36	2,956	3.65	205,001
	37	3,063	3.62	205,062
	38	3,165	3.33	206,778
	39	3,148	△ 0.54	207,093
	40	3,212	2.03	206,528
	41	2,495	△ 22.32	205,029
	42	3,268	30.98	205,876
	43	2,945	△ 9.88	204,955
	44	2,966	0.71	202,028
	45	2,953	△ 0.44	199,904
	46	3,108	5.25	191,808
	47	2,991	△ 3.76	190,016
	48	2,985	△ 0.20	188,967
	49	2,807	△ 5.96	188,043
	50	2,685	△ 4.35	187,719
	51	2,554	△ 4.88	187,432
	52	2,350	△ 7.99	187,155
平成	53	2,230	△ 5.11	186,122
	54	2,132	△ 4.39	185,301
	55	1,894	△ 11.16	184,090
	56	1,764	△ 6.86	182,404
	57	1,799	1.98	180,675
	58	1,715	△ 4.67	179,385
	59	1,602	△ 6.59	177,995
	60	1,491	△ 6.93	176,170
	61	1,445	△ 3.09	174,558
	62	1,286	△ 11.00	172,408
	63	1,319	2.57	170,717
	元	1,172	△ 11.14	166,579
	2	1,069	△ 8.79	164,568
	3	1,156	8.14	163,475
	4	1,104	△ 4.50	162,148
	5	1,081	△ 2.08	161,033
	6	1,091	0.93	159,993
	7	1,045	△ 4.22	158,544
	8	1,070	2.39	157,082
	9	1,028	△ 3.93	155,784
	10	1,022	△ 0.58	154,768
	11	959	△ 6.16	153,550
	12	978	1.98	152,063
	13	945	△ 3.37	150,244
	14	957	1.27	148,791
	15	936	△ 2.19	147,124
	16	815	△ 12.93	145,493
	17	756	△ 7.24	143,490
	18	810	7.14	141,322
	19	780	△ 3.70	139,267

※1 出生数は、各年1～12月の出生者数の計(住民基本台帳上の数値(市統計データより))
 ※2 人口は、各年9月末(S25年は10月末)現在(住民基本台帳上の数値(市統計データより))

※3 昭和33年4月は、塩谷村を本市へ編入(人口増要素)
 ※4 昭和41年は、丙午(出生数減要素、翌年は反動で出生数増傾向)

1.1. 出生数と児童生徒数の推移



※ 出生数は、各年1～12月の出生者数の計(住民基本台帳上の数値(市統計データより))

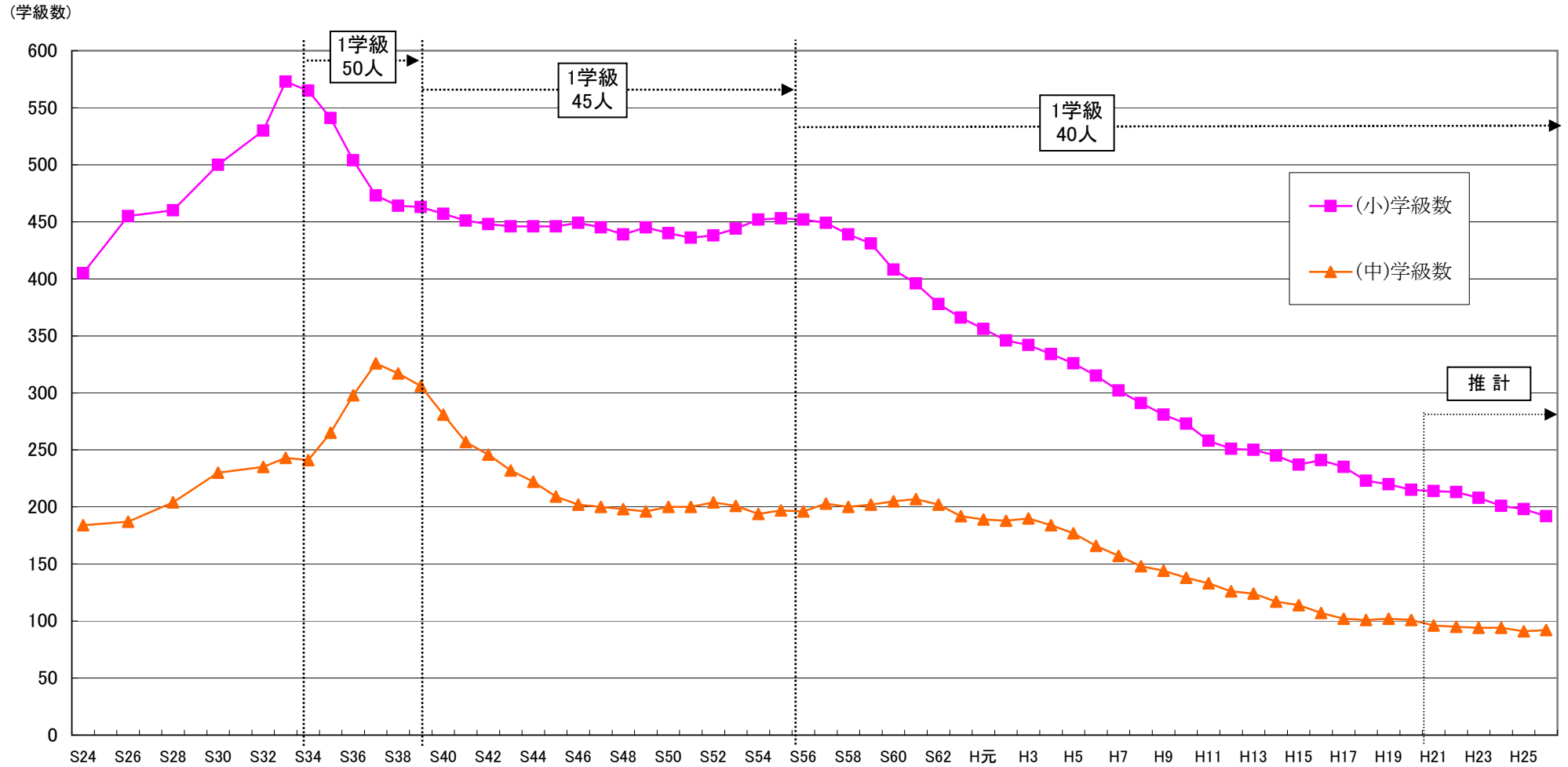
※ 平成21年度以降の児童生徒数は、平成19年度までの出生数に基づく推計値。

※ 昭和33年4月は、塩谷村を本市へ編入(人口増要素)

※ 昭和33年4月は、小学校3校1,253人(塩谷、桃内、忍路中央)・中学校2校510人(塩谷、忍路)を、塩谷村から本市へ編入(学校数、学級数、児童生徒数の増要素)

※ 昭和41年は、丙午(出生数減要素、翌年は反動で出生数増傾向)

12. 小中学校学級数の推移

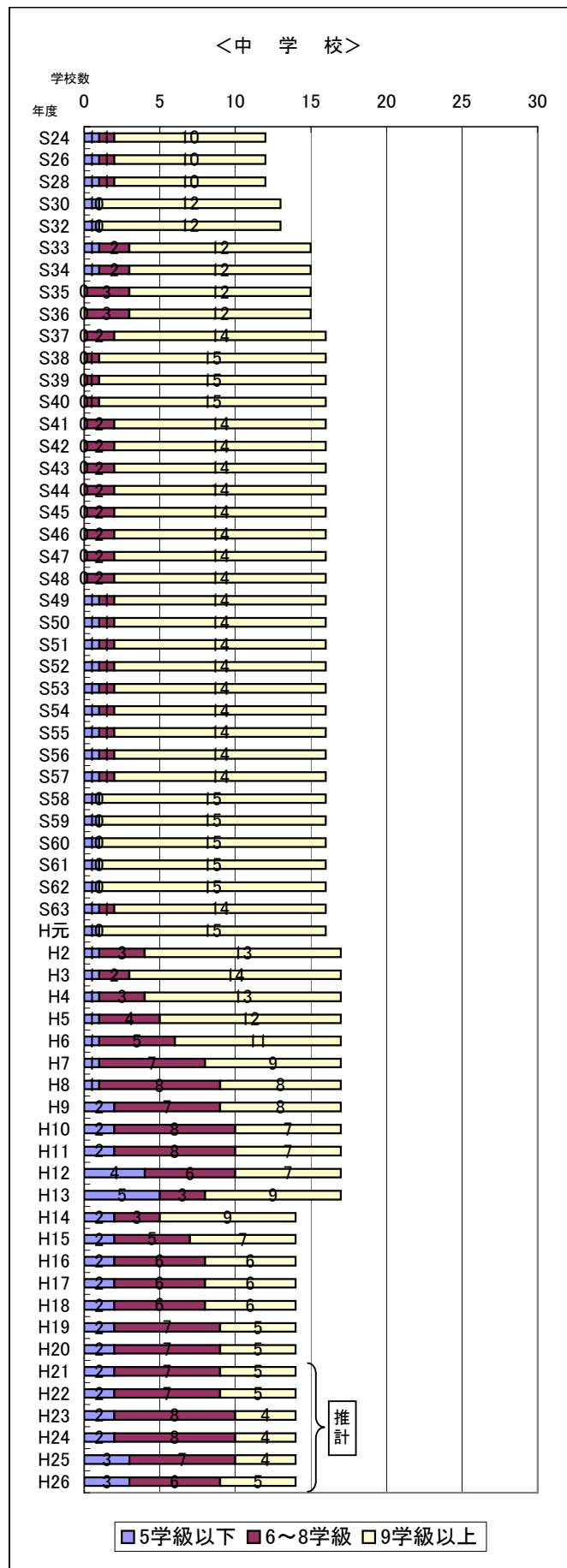
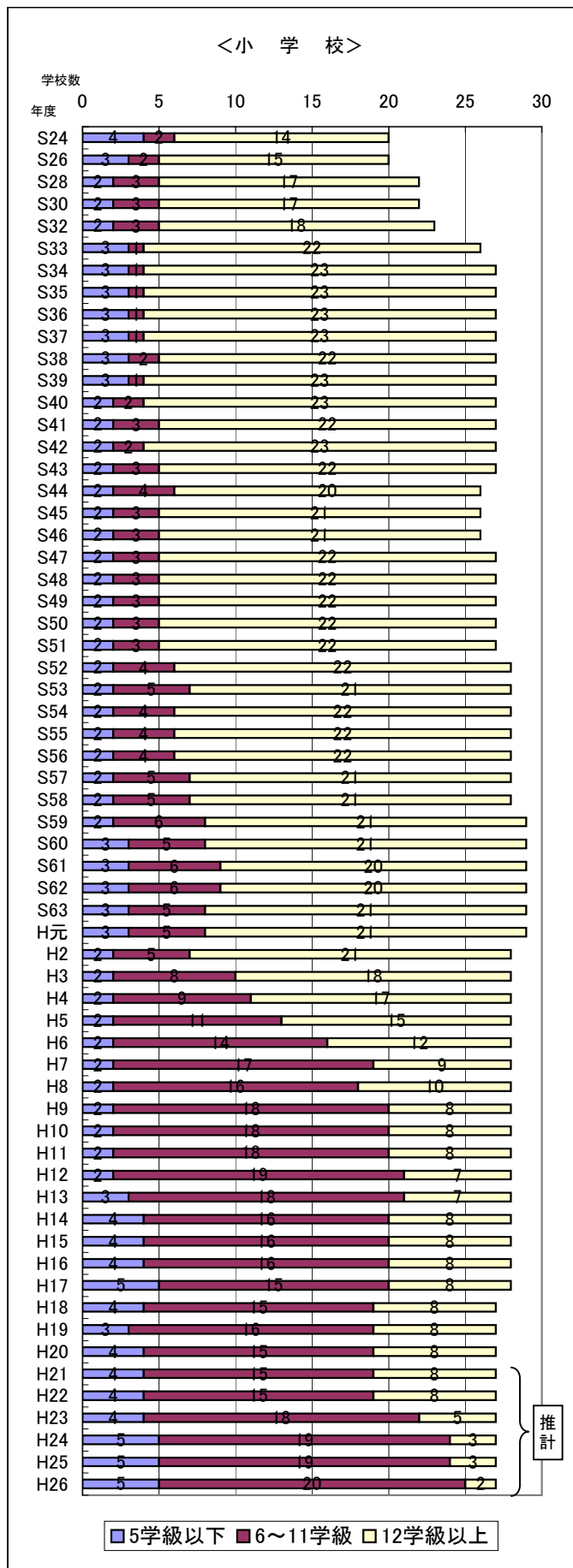


※ 推計値は1学級当たり40人以下とした

※ 国における学級編成上の1学級当たりの児童生徒数は、昭和34年度～38年度は50人以下、39年度～53年度は45人以下、55年度以降は40人以下を標準としている
(標準法制定直前の各県の基準数平均は60人)

※ 昭和33年4月は、小学校3校28学級(塩谷、桃内、忍路中央)・中学校2校13学級(塩谷、忍路)を、塩谷村から本市へ編入(学校数、学級数、児童生徒数の増要素)

13. 学級数規模別学校数の推移



※推計値は1学級当たり40人以下とした

14. 学級数規模別学校区分一覧

平成20年度実数 (H20.5.1 現在)				
	5学級以下	6～11	12～18	19学級以上
小 学 校	忍路中央 (4)	塩谷 (6)	高島 (12)	朝里 (19)
	祝津 (3)	手宮西 (6)	幸 (12)	
	北手宮 (5)	手宮 (6)	長橋 (12)	
	豊倉 (4)	色内 (6)	稲穂 (12)	
		花園 (6)	桜 (17)	
		緑 (6)	望洋台 (12)	
		最上 (7)	銭函 (12)	
		入船 (6)		
		量徳 (6)		
		奥沢 (6)		
	天神 (6)			
	潮見台 (6)			
	若竹 (6)			
	張碓 (6)			
	桂岡 (6)			
	4校	15校	7校	1校
中 学 校	忍路 (3)	北山 (7)	長橋 (12)	
	塩谷 (3)	末広 (6)		
		西陵 (6)		
		菁園 (10)		
		松ヶ枝 (7)		
		向陽 (6)		
		潮見台 (6)		
		桜町 (9)		
		望洋台 (6)		
		朝里 (11)		
	銭函 (9)			
	2校	11校	1校	0

平成26年度推計 (H26.5.1 推計)				
	5学級以下	6～11	12～18	19学級以上
小 学 校	忍路中央 (4)	塩谷 (6)	桜 (15) △ 2	
	祝津 (3)	高島 (10) △ 2	朝里 (17) △ 2	
	北手宮 (5)	長橋 (11) △ 1		
	豊倉 (4)	幸 (10) △ 2		
	張碓 (4) △ 2	稲穂 (11) △ 1		
		手宮西 (6)		
		手宮 (6)		
		色内 (6)		
		花園 (6)		
		緑 (6)		
	最上 (6)			
	入船 (6)			
	量徳 (6)			
	奥沢 (6)			
	天神 (6)			
	潮見台 (6)			
	若竹 (6)			
	望洋台 (9) △ 3			
	銭函 (10) △ 2			
	桂岡 (6)			
	5校 (+1)	20校 (+5)	2校 (△5)	0 (△1)
中 学 校	忍路 (3)	長橋 (10) △ 2		
	塩谷 (3)	北山 (6) △ 1		
	末広 (5) △ 1	西陵 (7) 1		
		菁園 (9) △ 1		
		松ヶ枝 (7)		
		向陽 (6)		
		潮見台 (6)		
		桜町 (9)		
		望洋台 (6)		
		朝里 (9) △ 2		
	銭函 (9)			
	3校 (+1)	11校	0 (△1)	0

注 1.特別支援学級を除く
2.推計値は、1学級当たり40人以下とした

は20年度との変更部分

15. 平成20年度 学級編制表

平成20年5月1日現在

小学校名	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	学級数
忍路中央	7	1	5	1	6	1	5		5	1	5		33	4
塩谷	17	1	21	1	(1) 27	1	23	1	28	1	(1) 24	1	(2) 140	(1) 6
祝津	2	1	3		3	1	2		5	1	6		21	3
高島	(3) 61	2	61	2	53	2	(1) 73	2	(2) 69	2	79	2	(6) 396	(3) 12
幸	55	2	48	2	59	2	42	2	53	2	55	2	312	12
長橋	(1) 61	2	66	2	58	2	(1) 63	2	(1) 69	2	(1) 63	2	(4) 380	(3) 12
北手宮	9	1	(2) 8	1	4		16	1	10	1	11	1	(2) 58	(2) 5
手宮西	15	1	19	1	21	1	(1) 22	1	24	1	22	1	(1) 123	(1) 6
手宮	20	1	14	1	22	1	24	1	28	1	18	1	126	6
色内	(1) 21	1	18	1	21	1	(1) 22	1	30	1	(2) 28	1	(4) 140	(2) 6
稲穂	63	2	54	2	60	2	(1) 52	2	(1) 57	2	57	2	(2) 343	(2) 12
花園	(2) 27	1	31	1	(1) 25	1	24	1	(3) 38	1	31	1	(6) 176	(3) 6
緑	(2) 28	1	37	1	(2) 23	1	(1) 25	1	36	1	35	1	(5) 184	(2) 6
最上	39	1	37	1	36	1	46	2	32	1	33	1	223	7
入船	31	1	29	1	35	1	(1) 25	1	30	1	(2) 28	1	(3) 178	(2) 6
量徳	(1) 26	1	25	1	29	1	26	1	25	1	23	1	(1) 154	(1) 6
奥沢	(1) 25	1	19	1	(1) 19	1	22	1	23	1	26	1	(2) 134	(2) 6
天神	31	1	32	1	25	1	(3) 35	1	(1) 40	1	32	1	(4) 195	(3) 6
潮見台	25	1	(1) 21	1	37	1	27	1	29	1	23	1	(1) 162	(1) 6
若竹	23	1	(1) 28	1	27	1	(1) 23	1	20	1	20	1	(2) 141	(2) 6
桜	73	3	(1) 88	3	(1) 77	2	(2) 84	3	91	3	94	3	(4) 507	(3) 17
望洋台	64	2	(1) 64	2	78	2	(1) 74	2	76	2	66	2	(2) 422	(2) 12
豊倉	5	1	3		7	1	6		7	1	13	1	41	4
朝里	(3) 90	3	102	3	89	3	(2) 101	3	(1) 125	4	(1) 103	3	(7) 610	(4) 19
張碓	12	1	(1) 13	1	(1) 6	1	12	1	(1) 11	1	7	1	(3) 61	(1) 6
桂岡	13	1	22	1	21	1	23	1	(1) 13	1	24	1	(1) 116	(1) 6
銭函	(1) 61	2	67	2	(1) 65	2	67	2	76	2	73	2	(2) 409	(2) 12
計	(15) 904	37	(7) 935	35	(8) 933	35	(16) 964	35	(11) 1,050	38	(7) 999	35	(64) 5,785	(43) 215
中学校名	1年生		2年生		3年生								合計	
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級							生徒数	学級数
忍路	2	1	8	1	9	1							19	3
塩谷	13	1	20	1	19	1							52	3
長橋	113	4	133	4	(2) 127	4							(2) 373	(1) 12
北山	68	2	(1) 81	3	72	2							(1) 221	(1) 7
末広	62	2	(1) 58	2	74	2							(1) 194	(1) 6
西陵	(1) 61	2	60	2	64	2							(1) 185	(1) 6
菁園	(4) 114	4	(6) 101	3	(6) 101	3							(16) 316	(5) 10
松ヶ枝	77	3	70	2	(1) 71	2							(1) 218	(1) 7
向陽	53	2	(1) 64	2	(2) 65	2							(3) 182	(2) 6
潮見台	(1) 64	2	(1) 55	2	65	2							(2) 184	(2) 6
桜町	85	3	85	3	(1) 95	3							(1) 265	(1) 9
望洋台	(1) 63	2	72	2	(1) 60	2							(2) 195	(2) 6
朝里	(3) 133	4	(2) 136	4	(1) 99	3							(6) 368	(3) 11
銭函	(2) 84	3	(2) 109	3	102	3							(4) 295	(3) 9
計	(12) 992	35	(14) 1,052	34	(14) 1,023	32							(40) 3,067	(23) 101
小中計													(104) 8,852	(66) 316

※()は特別支援学級外数

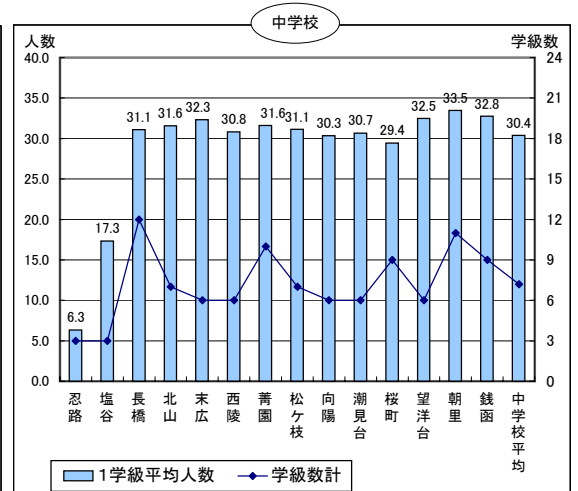
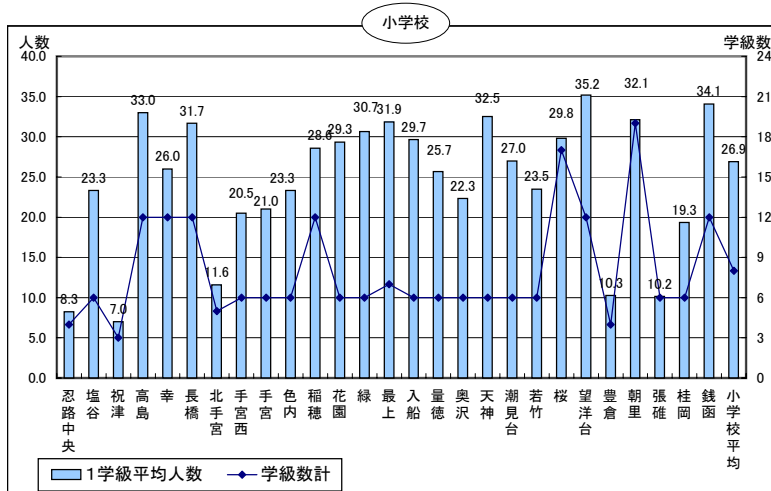
16.学校別 1学級当たりの平均児童生徒数（平成20年度 普通学級）

平成20

小学校名	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計		1学級あたりの平均児童数
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	
忍路中央	7	1	5	1	6	1	5	0	5	1	5	0	33	4	8.3
塩谷	17	1	21	1	27	1	23	1	28	1	24	1	140	6	23.3
祝津	2	1	3	0	3	1	2	0	5	1	6	0	21	3	7.0
高島	61	2	61	2	53	2	73	2	69	2	79	2	396	12	33.0
幸	55	2	48	2	59	2	42	2	53	2	55	2	312	12	26.0
長橋	61	2	66	2	58	2	63	2	69	2	63	2	380	12	31.7
北手宮	9	1	8	1	4		16	1	10	1	11	1	58	5	11.6
手宮西	15	1	19	1	21	1	22	1	24	1	22	1	123	6	20.5
手宮	20	1	14	1	22	1	24	1	28	1	18	1	126	6	21.0
色内	21	1	18	1	21	1	22	1	30	1	28	1	140	6	23.3
稲穂	63	2	54	2	60	2	52	2	57	2	57	2	343	12	28.6
花園	27	1	31	1	25	1	24	1	38	1	31	1	176	6	29.3
緑	28	1	37	1	23	1	25	1	36	1	35	1	184	6	30.7
最上	39	1	37	1	36	1	46	2	32	1	33	1	223	7	31.9
入船	31	1	29	1	35	1	25	1	30	1	28	1	178	6	29.7
量徳	26	1	25	1	29	1	26	1	25	1	23	1	154	6	25.7
奥沢	25	1	19	1	19	1	22	1	23	1	26	1	134	6	22.3
天神	31	1	32	1	25	1	35	1	40	1	32	1	195	6	32.5
潮見台	25	1	21	1	37	1	27	1	29	1	23	1	162	6	27.0
若竹	23	1	28	1	27	1	23	1	20	1	20	1	141	6	23.5
桜	73	3	88	3	77	2	84	3	91	3	94	3	507	17	29.8
望洋台	64	2	64	2	78	2	74	2	76	2	66	2	422	12	35.2
豊倉	5	1	3		7	1	6	0	7	1	13	1	41	4	10.3
朝里	90	3	102	3	89	3	101	3	125	4	103	3	610	19	32.1
張碓	12	1	13	1	6	1	12	1	11	1	7	1	61	6	10.2
桂岡	13	1	22	1	21	1	23	1	13	1	24	1	116	6	19.3
銭函	61	2	67	2	65	2	67	2	76	2	73	2	409	12	34.1
小学校計	904	37	935	35	933	35	964	35	1,050	38	999	35	5,785	215	26.9

中学校名	1年生		2年生		3年生		合計		1学級あたりの平均生徒数
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	
忍路	2	1	8	1	9	1	19	3	6.3
塩谷	13	1	20	1	19	1	52	3	17.3
長橋	113	4	133	4	127	4	373	12	31.1
北山	68	2	81	3	72	2	221	7	31.6
末広	62	2	58	2	74	2	194	6	32.3
西陵	61	2	60	2	64	2	185	6	30.8
菁園	114	4	101	3	101	3	316	10	31.6
松ヶ枝	77	3	70	2	71	2	218	7	31.1
向陽	53	2	64	2	65	2	182	6	30.3
潮見台	64	2	55	2	65	2	184	6	30.7
桜町	85	3	85	3	95	3	265	9	29.4
望洋台	63	2	72	2	60	2	195	6	32.5
朝里	133	4	136	4	99	3	368	11	33.5
銭函	84	3	109	3	102	3	295	9	32.8
中学校計	992	35	1,052	34	1,023	32	3,067	101	30.4

※ 平均は小数点以下第二位を四捨五入



17. 学校別 [新入学]児童生徒数・学級数推計 (H21~H26 普通学級)

平成20年5月1日現在

小学校名	参考:平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級
忍路中央	7	1	5	1	7	1	8	1	4	1	5	1	7	1
塩谷	17	1	26	1	23	1	13	1	20	1	15	1	13	1
祝津	2	1	2	1	7	1	2	1	6	1	3	1	1	1
高島	61	2	64	2	50	2	40	1	49	2	40	1	36	1
幸	55	2	52	2	48	2	42	2	38	1	40	1	41	2
長橋	61	2	72	2	62	2	31	1	46	2	49	2	44	2
北手宮	9	1	10	1	9	1	7	1	8	1	7	1	15	1
手宮西	15	1	19	1	25	1	12	1	21	1	10	1	9	1
手宮	20	1	15	1	24	1	18	1	21	1	12	1	11	1
色内	21	1	32	1	28	1	33	1	22	1	38	1	33	1
稲穂	63	2	56	2	56	2	52	2	52	2	63	2	31	1
花園	27	1	36	1	32	1	32	1	30	1	25	1	28	1
緑	28	1	39	1	27	1	35	1	38	1	33	1	19	1
最上	39	1	35	1	32	1	33	1	31	1	35	1	39	1
入船	31	1	27	1	37	1	29	1	26	1	34	1	19	1
量徳	26	1	33	1	22	1	25	1	25	1	31	1	29	1
奥沢	25	1	23	1	22	1	35	1	22	1	20	1	38	1
天神	31	1	33	1	29	1	22	1	31	1	24	1	16	1
潮見台	25	1	26	1	26	1	27	1	21	1	20	1	18	1
若竹	23	1	22	1	25	1	21	1	22	1	30	1	27	1
桜	73	3	82	3	78	2	60	2	78	2	71	2	71	2
望洋台	64	2	49	2	52	2	39	1	34	1	41	2	32	1
豊倉	5	1	5	1	5	1	5	1	3	1	2	1	8	1
朝里	90	3	99	3	88	3	88	3	73	2	73	2	83	3
張碓	12	1	12	1	6	1	6	1	8	1	5	1	15	1
桂岡	13	1	18	1	18	1	14	1	17	1	34	1	26	1
銭函	61	2	50	2	52	2	42	2	28	1	48	2	32	1
計	904	37	942	37	890	36	771	33	774	32	808	33	741	32
中学校名	参考:平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級
忍路	2	1	5	1	6	1	7	1	7	1	5	1	8	1
塩谷	13	1	26	1	32	1	24	1	26	1	22	1	17	1
長橋	113	4	118	3	118	3	102	3	117	3	112	3	113	3
北山	68	2	77	2	72	2	80	2	53	2	65	2	64	2
末広	62	2	61	2	66	2	56	2	53	2	40	1	43	2
西陵	61	2	70	2	84	3	75	2	66	2	75	2	70	2
菁園	114	4	91	3	85	3	62	2	99	3	82	3	81	3
松ヶ枝	77	3	67	2	69	2	77	2	59	2	71	2	76	2
向陽	53	2	49	2	56	2	48	2	41	2	46	2	53	2
潮見台	64	2	46	2	56	2	57	2	61	2	42	2	57	2
桜町	85	3	108	3	103	3	96	3	89	3	107	3	86	3
望洋台	63	2	64	2	74	2	75	2	80	2	65	2	64	2
朝里	133	4	117	3	136	4	108	3	97	3	106	3	96	3
銭函	84	3	105	3	99	3	104	3	92	3	102	3	86	3
計	992	35	1,004	31	1,056	33	971	30	940	31	940	30	914	31
小中計	1,896	72	1,946	68	1,946	69	1,742	63	1,714	63	1,748	63	1,655	63

※・平成20年度は参考値(H20.5.1時点の新1年生実数)

18. 学校別 [新入学]児童生徒数・学級数推計
(H21～H26、普通学級、平成20年度北海道少人数学級実践研究事業適用)

平成20年5月1日現在

小学校名	参考:平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級
忍路中央	7	1	5	1	7	1	8	1	4	1	5	1	7	1
塩谷	17	1	26	1	23	1	13	1	20	1	15	1	13	1
祝津	2	1	2	1	7	1	2	1	6	1	3	1	1	1
高島	61	2	64	2	50	2	40	1	49	2	40	1	36	1
幸	55	2	52	2	48	2	42	2	38	1	40	1	41	2
長橋	61	2	72	3	62	2	31	1	46	2	49	2	44	2
北手宮	9	1	10	1	9	1	7	1	8	1	7	1	15	1
手宮西	15	1	19	1	25	1	12	1	21	1	10	1	9	1
手宮	20	1	15	1	24	1	18	1	21	1	12	1	11	1
色内	21	1	32	1	28	1	33	1	22	1	38	1	33	1
稲穂	63	2	56	2	56	2	52	2	52	2	63	2	31	1
花園	27	1	36	1	32	1	32	1	30	1	25	1	28	1
緑	28	1	39	1	27	1	35	1	38	1	33	1	19	1
最上	39	1	35	1	32	1	33	1	31	1	35	1	39	1
入船	31	1	27	1	37	1	29	1	26	1	34	1	19	1
量徳	26	1	33	1	22	1	25	1	25	1	31	1	29	1
奥沢	25	1	23	1	22	1	35	1	22	1	20	1	38	1
天神	31	1	33	1	29	1	22	1	31	1	24	1	16	1
潮見台	25	1	26	1	26	1	27	1	21	1	20	1	18	1
若竹	23	1	22	1	25	1	21	1	22	1	30	1	27	1
桜	73	3	82	3	78	3	60	2	78	3	71	3	71	3
望洋台	64	2	49	2	52	2	39	1	34	1	41	2	32	1
豊倉	5	1	5	1	5	1	5	1	3	1	2	1	8	1
朝里	90	3	99	3	88	3	88	3	73	3	73	3	83	3
張碓	12	1	12	1	6	1	6	1	8	1	5	1	15	1
桂岡	13	1	18	1	18	1	14	1	17	1	34	1	26	1
銭函	61	2	50	2	52	2	42	2	28	1	48	2	32	1
計	904	37	942	38	890	37	771	33	774	34	808	35	741	33
中学校名	参考:平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級
忍路	2	1	5	1	6	1	7	1	7	1	5	1	8	1
塩谷	13	1	26	1	32	1	24	1	26	1	22	1	17	1
長橋	113	4	118	4	118	4	102	3	117	4	112	4	113	4
北山	68	2	77	3	72	3	80	3	53	2	65	2	64	2
末広	62	2	61	2	66	2	56	2	53	2	40	1	43	2
西陵	61	2	70	2	84	3	75	3	66	2	75	3	70	2
菁園	114	4	91	3	85	3	62	2	99	3	82	3	81	3
松ヶ枝	77	3	67	2	69	2	77	3	59	2	71	3	76	3
向陽	53	2	49	2	56	2	48	2	41	2	46	2	53	2
潮見台	64	2	46	2	56	2	57	2	61	2	42	2	57	2
桜町	85	3	108	4	103	3	96	3	89	3	107	4	86	3
望洋台	63	2	64	2	74	3	75	3	80	3	65	2	64	2
朝里	133	4	117	4	136	4	108	4	97	3	106	4	96	3
銭函	84	3	105	3	99	3	104	3	92	3	102	3	86	3
計	992	35	1,004	35	1,056	36	971	35	940	33	940	35	914	33
小中計	1,896	72	1,946	73	1,946	73	1,742	68	1,714	67	1,748	70	1,655	66

※ 平成20年度は参考値(H20.5.1時点の新1年生実数)

※ は少人数学級実践研究事業該当

19. 学校別 児童生徒数・学級数推計（H20～H26 普通学級）

平成20年5月1日現在

小学校名	参考：平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級
忍路中央	33	4	33	4	35	4	38	4	36	4	36	4	36	4
塩谷	140	6	142	6	137	6	127	6	120	6	114	6	110	6
祝津	21	3	17	3	19	4	19	4	22	3	22	4	21	3
高島	396	12	381	12	362	12	329	11	325	11	304	10	279	9
幸	312	12	309	12	304	12	304	12	283	11	275	10	261	10
長橋	380	12	389	12	382	12	350	11	338	11	321	11	304	11
北手宮	58	5	57	5	56	5	47	5	51	5	50	5	56	4
手宮西	123	6	120	6	121	6	111	6	111	6	102	6	96	6
手宮	126	6	123	6	119	6	113	6	112	6	110	6	101	6
色内	140	6	144	6	142	6	153	6	154	6	174	6	186	6
稲穂	343	12	342	12	341	12	341	12	333	12	342	12	310	11
花園	176	6	181	6	175	6	183	6	188	6	182	6	183	6
緑	184	6	188	6	179	6	189	6	204	6	200	6	191	6
最上	223	7	225	7	225	7	212	6	207	6	205	6	205	6
入船	178	6	177	6	184	6	188	6	179	6	184	6	172	6
量徳	154	6	164	6	161	6	160	6	156	6	162	6	165	6
奥沢	134	6	131	6	130	6	143	6	146	6	147	6	160	6
天神	195	6	196	6	185	6	172	6	178	6	170	6	155	6
潮見台	162	6	165	6	162	6	162	6	146	6	145	6	138	6
若竹	141	6	143	6	148	6	146	6	141	6	143	6	147	6
桜	507	17	495	16	482	15	458	14	459	14	442	13	440	13
望洋台	422	12	405	12	381	12	346	11	302	10	279	10	247	9
豊倉	41	4	33	4	31	4	30	4	26	3	25	3	28	4
朝里	610	19	606	19	569	18	556	18	540	17	511	16	504	16
張碓	61	6	66	6	61	6	55	6	57	5	49	5	52	4
桂岡	116	6	110	6	115	6	106	6	102	6	114	6	127	6
銭函	409	12	386	12	362	12	337	12	300	11	281	11	252	10
計	5,785	215	5,728	214	5,568	213	5,375	208	5,216	201	5,089	198	4,926	192
中学校名	参考：平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級
忍路	19	3	15	2	13	2	18	3	20	3	19	3	20	3
塩谷	52	3	59	3	71	3	82	3	82	3	72	3	65	3
長橋	373	12	364	10	349	9	338	9	337	9	331	9	342	9
北山	221	7	226	7	217	6	229	6	205	6	198	6	182	6
末広	194	6	181	6	189	6	183	6	175	6	149	5	136	5
西陵	185	6	191	6	215	7	229	7	225	7	216	6	211	6
青園	316	10	306	9	290	9	238	8	246	8	243	8	262	9
松ヶ枝	218	7	214	6	213	6	213	6	205	6	207	6	206	6
向陽	182	6	166	6	158	6	153	6	145	6	135	6	140	6
潮見台	184	6	165	6	166	6	159	6	174	6	160	6	160	6
桜町	265	9	278	9	296	9	307	9	288	9	292	9	282	9
望洋台	195	6	199	6	201	6	213	6	229	6	220	6	209	6
朝里	368	11	386	11	386	11	361	10	341	10	311	9	299	9
銭函	295	9	298	9	288	9	308	9	295	9	298	9	280	9
計	3,067	101	3,048	96	3,052	95	3,031	94	2,967	94	2,851	91	2,794	92
小中計	8,852	316	8,776	310	8,620	308	8,406	302	8,183	295	7,940	289	7,720	284

※ 平成20年度は参考値(H20.5.1時点の実数)

20. 学校別 児童生徒数・学級数推計 (H21～H26、普通学級、平成20年度北海道少人数学級実践研究事業適用)

平成20年5月1日現在

小学校名	参考:平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級	児童数	級
忍路中央	33	4	33	4	35	4	38	4	36	4	36	4	36	4
塩谷	140	6	142	6	137	6	127	6	120	6	114	6	110	6
祝津	21	3	17	3	19	4	19	4	22	3	22	4	21	3
高島	396	12	381	12	362	12	329	11	325	11	304	10	279	9
幸	312	12	309	12	304	12	304	12	283	11	275	10	261	10
長橋	380	12	389	13	382	13	350	11	338	11	321	11	304	11
北手宮	58	5	57	5	56	5	47	5	51	5	50	5	56	4
手宮西	123	6	120	6	121	6	111	6	111	6	102	6	96	6
手宮	126	6	123	6	119	6	113	6	112	6	110	6	101	6
色内	140	6	144	6	142	6	153	6	154	6	174	6	186	6
稲穂	343	12	342	12	341	12	341	12	333	12	342	12	310	11
花園	176	6	181	6	175	6	183	6	188	6	182	6	183	6
緑	184	6	188	6	179	6	189	6	204	6	200	6	191	6
最上	223	7	225	7	225	7	212	6	207	6	205	6	205	6
入船	178	6	177	6	184	6	188	6	179	6	184	6	172	6
量徳	154	6	164	6	161	6	160	6	156	6	162	6	165	6
奥沢	134	6	131	6	130	6	143	6	146	6	147	6	160	6
天神	195	6	196	6	185	6	172	6	178	6	170	6	155	6
潮見台	162	6	165	6	162	6	162	6	146	6	145	6	138	6
若竹	141	6	143	6	148	6	146	6	141	6	143	6	147	6
桜	507	17	495	17	482	16	458	15	459	15	442	15	440	15
望洋台	422	12	405	12	381	12	346	11	302	10	279	10	247	9
豊倉	41	4	33	4	31	4	30	4	26	3	25	3	28	4
朝里	610	19	606	19	569	18	556	18	540	18	511	18	504	17
張碓	61	6	66	6	61	6	55	6	57	5	49	5	52	4
桂岡	116	6	110	6	115	6	106	6	102	6	114	6	127	6
銭函	409	12	386	12	362	12	337	12	300	11	281	11	252	10
計	5,785	215	5,728	216	5,568	215	5,375	209	5,216	203	5,089	202	4,926	195
中学校名	参考:平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級	生徒数	級
忍路	19	3	15	2	349	2	18	3	20	3	19	3	20	3
塩谷	52	3	59	3	217	3	82	3	82	3	72	3	65	3
長橋	373	12	364	11	189	10	338	9	337	10	331	10	342	10
北山	221	7	226	8	215	7	229	7	205	6	198	6	182	6
末広	194	6	181	6	290	6	183	6	175	6	149	5	136	5
西陵	185	6	191	6	213	7	229	8	225	7	216	7	211	6
菁園	316	10	306	9	158	9	238	8	246	8	243	8	262	9
松ヶ枝	218	7	214	6	166	6	213	7	205	6	207	7	206	7
向陽	182	6	166	6	296	6	153	6	145	6	135	6	140	6
潮見台	184	6	165	6	201	6	159	6	174	6	160	6	160	6
桜町	265	9	278	10	386	9	307	9	288	9	292	10	282	9
望洋台	195	6	199	6	288	7	213	7	229	7	220	6	209	6
朝里	368	11	386	12	386	11	361	11	341	10	311	10	299	9
銭函	295	9	298	9	288	9	308	9	295	9	298	9	280	9
計	3,067	101	3,048	100	3,642	98	3,031	99	2,967	96	2,851	96	2,794	94
小中計	8,852	316	8,776	316	9,210	313	8,406	308	8,183	299	7,940	298	7,720	289

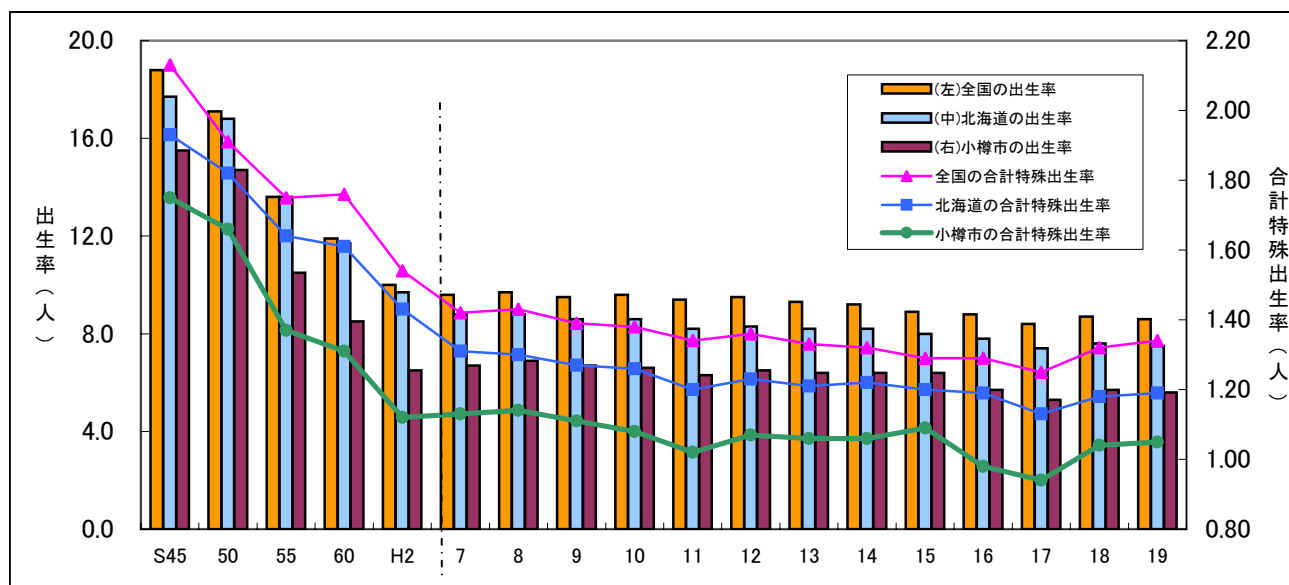
※・平成20年度は参考値(H20.5.1時点の新1年生実数)

・学級数は北海道少人数学級実践研究事業を適用(該当する学校の学級数を網掛けで表示)

21. 出生率及び合計特殊出生率の推移

(人)

年次	出生率(人口千対)			合計特殊出生率		
	全国	北海道	小樽市	全国	北海道	小樽市
昭和 25	28.1	34.2	27.5			
30	19.4	21.7	16.6			
35	17.2	18.6	15.4			
40	18.6	18.7	16.4			
45	18.8	17.7	15.5	2.13	1.93	1.75
50	17.1	16.8	14.7	1.91	1.82	1.66
55	13.6	13.6	10.5	1.75	1.64	1.37
60	11.9	11.7	8.5	1.76	1.61	1.31
61	11.4	11.3	8.5			
62	11.1	10.8	7.6			
63	10.8	10.5	7.9			
平成 元	10.2	9.8	7.2			
2	10.0	9.7	6.5	1.54	1.43	1.12
3	9.9	9.6	7.1			
4	9.8	9.4	6.8			
5	9.6	9.0	6.8			
6	10.0	9.3	6.9			
7	9.6	8.8	6.7	1.42	1.31	1.13
8	9.7	8.8	6.9	1.43	1.30	1.14
9	9.5	8.6	6.7	1.39	1.27	1.11
10	9.6	8.6	6.6	1.38	1.26	1.08
11	9.4	8.2	6.3	1.34	1.20	1.02
12	9.5	8.3	6.5	1.36	1.23	1.07
13	9.3	8.2	6.4	1.33	1.21	1.06
14	9.2	8.2	6.4	1.32	1.22	1.06
15	8.9	8.0	6.4	1.29	1.20	1.09
16	8.8	7.8	5.7	1.29	1.19	0.98
17	8.4	7.4	5.3	1.26	1.15	0.94
18	8.7	7.6	5.7	1.32	1.18	1.04
19(概数)	8.6	7.5	5.6	1.34	1.19	1.05



※ 出生率:人口千人当たりの1年間の出生者数

※ 合計特殊出生率:一般的に、生産年齢(15歳~49歳)に当たる女性の、年齢ごとの出生率を合計したもの(「期間合計特殊出生率」)をいう。1人の女性が生涯に生む子供の平均人数を推計する値として使われ、総人口の維持には2.07~2.08程度が必要とされている。国際的にも人口動態の指標として広く使われており、数値は次の算式により求められる。

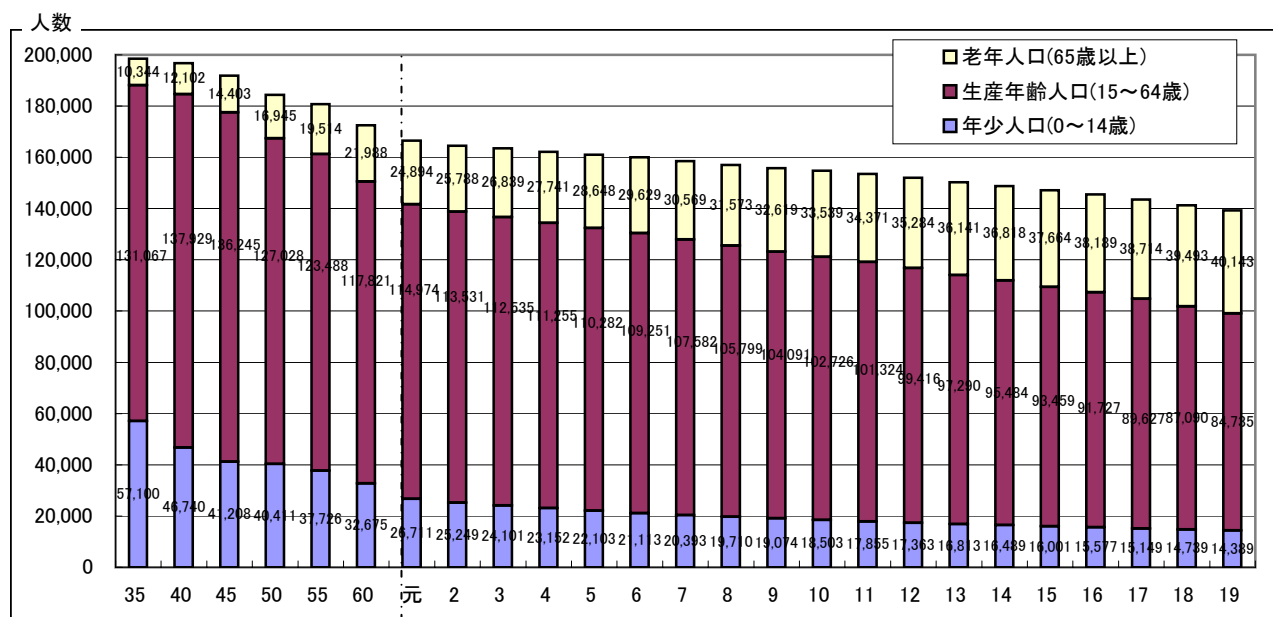
合計特殊出生率 = (母の年齢別出生数 / 当該年齢別女子人口) …… これを、15歳~49歳まで合計したもの

※ 各データは、保健所統計資料(「小樽市の保健行政」)より

(小樽市統計書のデータとは、把握時点に若干のずれがあるため一致しない)

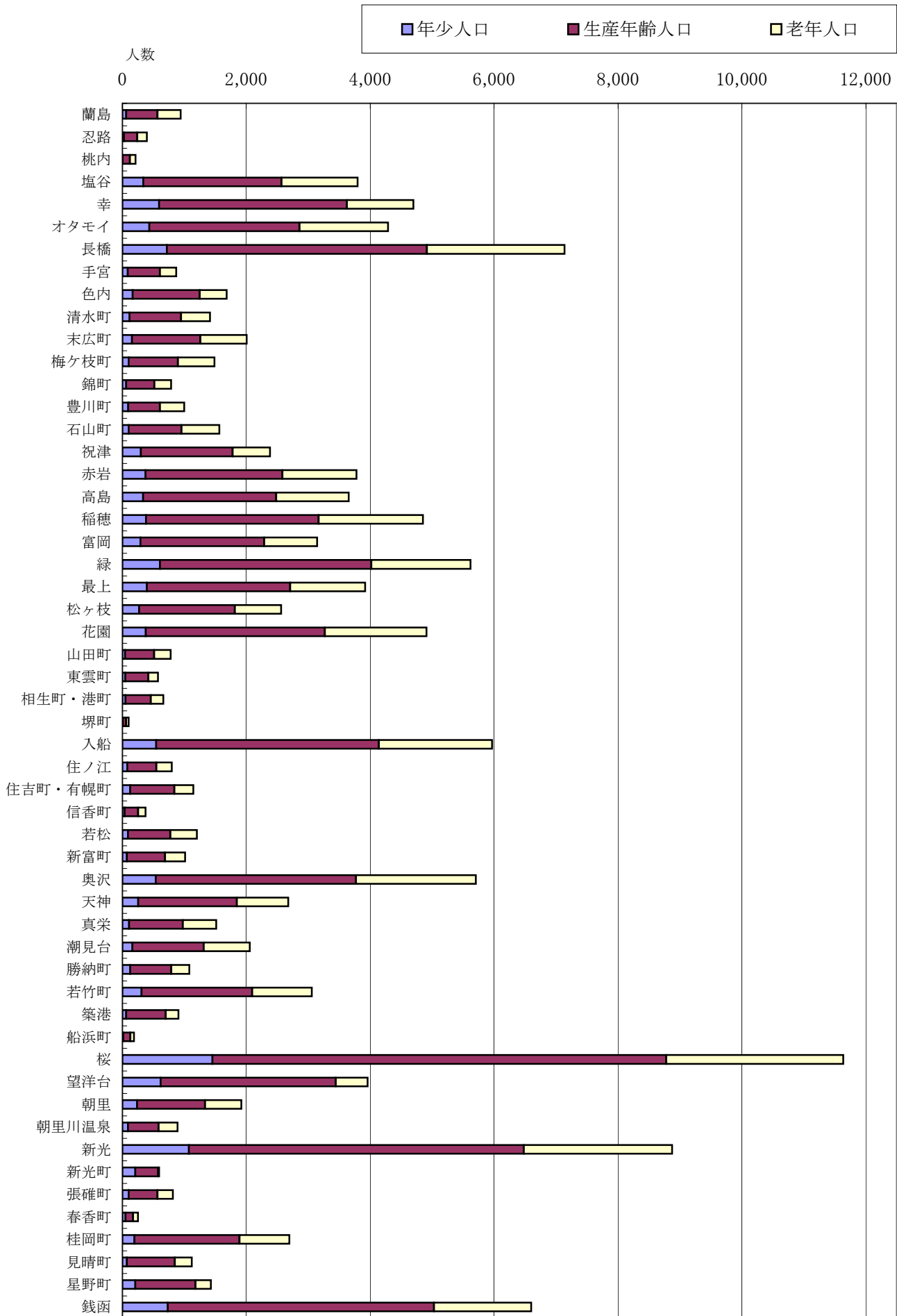
22. 小樽市の3区分人口（年少、生産年齢、老年）の推移

区分年次	人 数(人)				比 率(%)		
	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	総 計	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
35	57,100	131,067	10,344	198,511	28.8	66.0	5.2
40	46,740	137,929	12,102	196,771	23.8	70.1	6.1
45	41,208	136,245	14,403	191,856	21.5	71.0	7.5
50	40,411	127,028	16,945	184,384	21.9	68.9	9.2
55	37,726	123,488	19,514	180,728	20.9	68.3	10.8
60	32,675	117,821	21,988	172,484	18.9	68.3	12.8
元	26,711	114,974	24,894	166,579	16.0	69.0	15.0
2	25,249	113,531	25,788	164,568	15.3	69.0	15.7
3	24,101	112,535	26,839	163,475	14.8	68.8	16.4
4	23,152	111,255	27,741	162,148	14.3	68.6	17.1
5	22,103	110,282	28,648	161,033	13.7	68.5	17.8
6	21,113	109,251	29,629	159,993	13.2	68.3	18.5
7	20,393	107,582	30,569	158,544	12.9	67.8	19.3
8	19,710	105,799	31,573	157,082	12.5	67.4	20.1
9	19,074	104,091	32,619	155,784	12.3	66.8	20.9
10	18,503	102,726	33,539	154,768	11.9	66.4	21.7
11	17,855	101,324	34,371	153,550	11.6	66.0	22.4
12	17,363	99,416	35,284	152,063	11.4	65.4	23.2
13	16,813	97,290	36,141	150,244	11.2	64.7	24.1
14	16,489	95,484	36,818	148,791	11.1	64.2	24.7
15	16,001	93,459	37,664	147,124	10.9	63.5	25.6
16	15,577	91,727	38,189	145,493	10.7	63.0	26.3
17	15,149	89,627	38,714	143,490	10.5	62.5	27.0
18	14,739	87,090	39,493	141,322	10.4	61.6	28.0
19	14,389	84,735	40,143	139,267	10.3	60.9	28.8



※昭和60年以前は国勢調査(各年10月1日現在)、平成元年以降は住民基本台帳(各年9月末現在)による。※昭和50年は年齢不詳22名を除く。

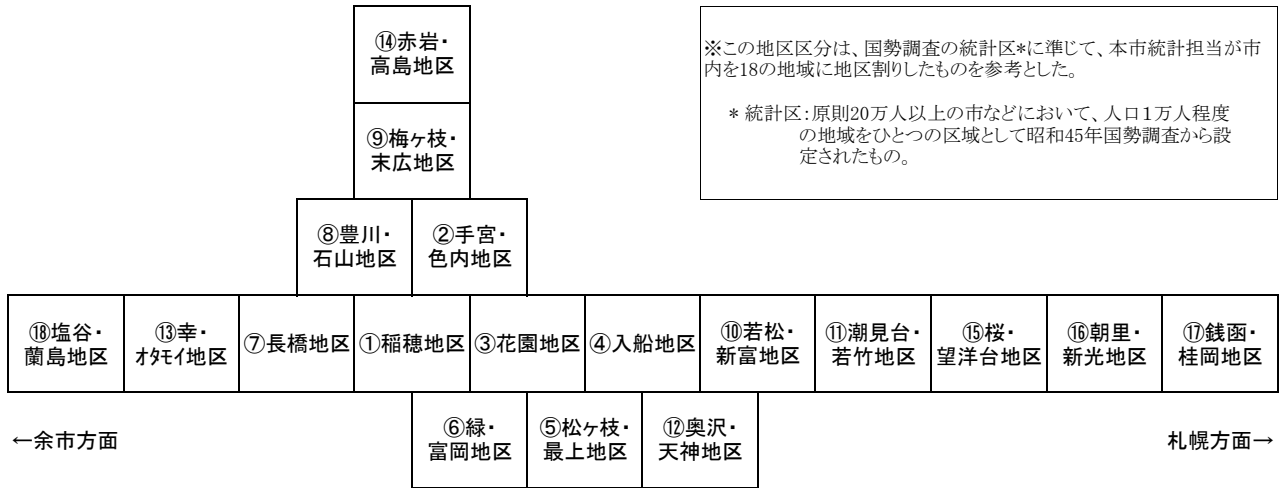
23. 平成20年5月末 町別3区分人口



※平成20年5月末現在の住民基本台帳人口による

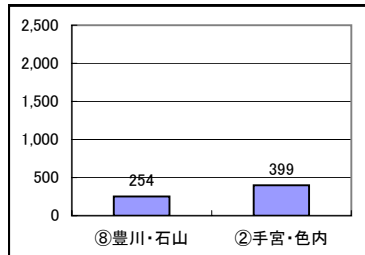
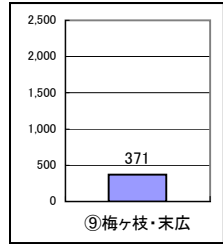
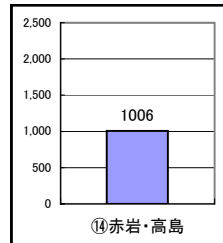
24. 平成20年5月末 小樽市内の地区別 年少人口の分布

※年少人口:0歳~14歳

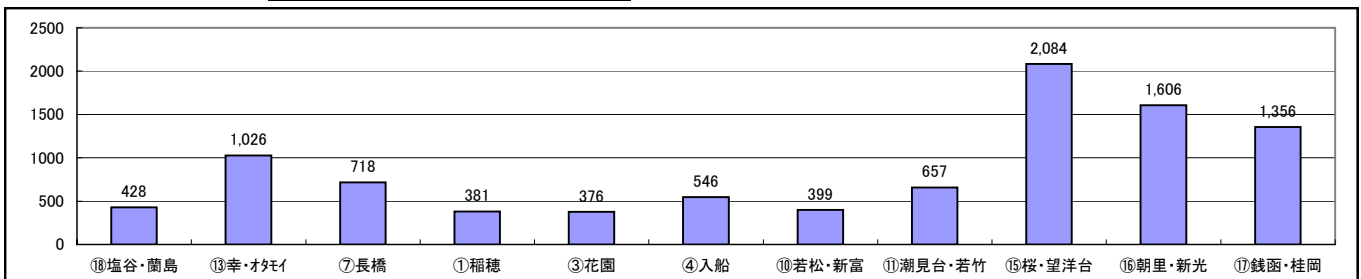


※この地区区分は、国勢調査の統計区*に準じて、本市統計担当が市内を18の地域に地区割りしたものを参考とした。

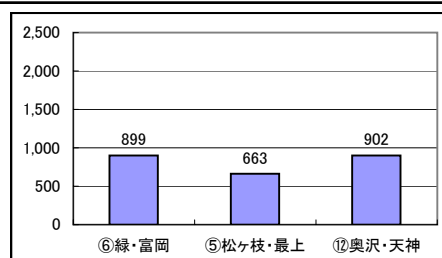
*統計区:原則20万人以上の市などにおいて、人口1万人程度の地域をひとつの区域として昭和45年国勢調査から設定されたもの。



地区	町別
①稲穂地区	稲穂
②手宮・色内地区	手宮・色内・山田町・東雲町・塚町・相生町・港町
③花園地区	花園
④入船地区	入船
⑤松ヶ枝・最上地区	松ヶ枝・最上・天狗山
⑥緑・富岡地区	緑・富岡・旭町
⑦長橋地区	長橋
⑧豊川・石山地区	豊川町・錦町・石山町
⑨梅ヶ枝・末広地区	清水町・梅ヶ枝町・末広町
⑩若松・新富地区	有幌町・住吉町・信香町・若松・住ノ江・新富町
⑪潮見台・若竹地区	勝納町・潮見台・築港・若竹町
⑫奥沢・天神地区	奥沢・真栄・天神
⑬幸・オタモイ地区	幸・オタモイ
⑭赤岩・高島地区	赤岩・祝津・高島
⑮桜・望洋台地区	船浜町・桜・望洋台
⑯朝里・新光地区	朝里・新光・新光町・朝里川温泉
⑰銭函・桂岡地区	張碓町・銭函・星野町・見晴町・桂岡町・春香町
⑱塩谷・蘭島地区	塩谷・桃内・忍路・蘭島



←余市方面



札幌方面→

25. 人口の将来見通しについて

人口の将来推計は、平成12年(2000年)の国勢調査の係数をベースに国の研究機関から示されています。

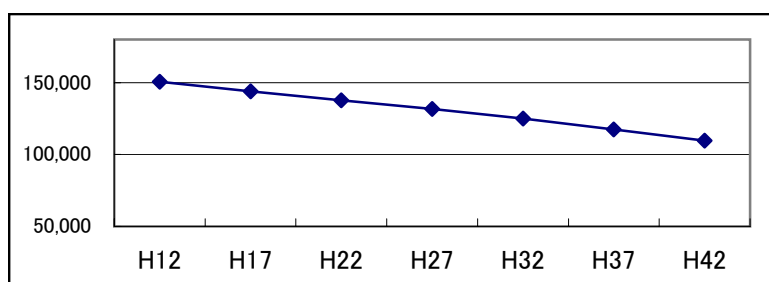
それによると、平成22年(2010年)には、13万人台半ばの推計がなされています。

総人口の推計

(人)

2000(H12)	2005(H17)	2010(H22)	2015(H27)	2020(H32)	2025(H37)	2030(H42)
150,687	144,023	137,704	131,761	124,908	117,449	109,684

※H12国勢調査をベースにした推計であるため、H17の実際の人口とは差が生じている。

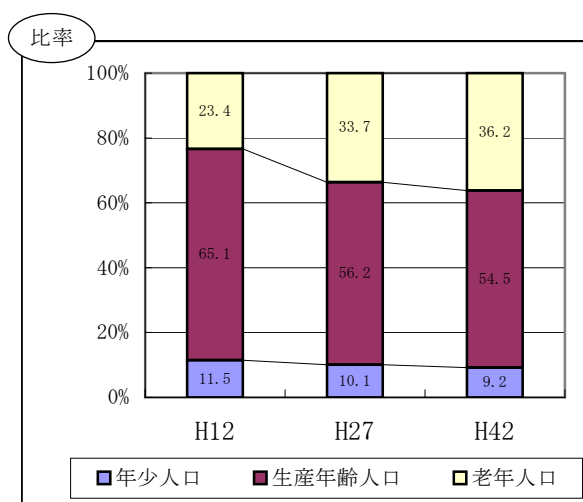
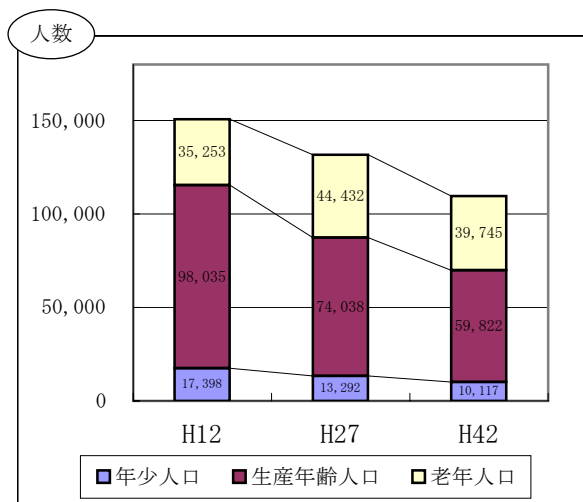


年齢別(3区分)人口の推計

(人)

区分	2000(H12)		2015(H27)		2030(H42)	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
総人口	150,687	100.0%	131,761	100.0%	109,684	100.0%
年少人口 (0歳～14歳)	17,398	11.5%	13,292	10.1%	10,117	9.2%
生産年齢人口 (15歳～64歳)	98,035	65.1%	74,038	56.2%	59,822	54.5%
老年人口 (65歳以上)	35,253	23.4%	44,432	33.7%	39,745	36.2%

※「日本の市区町村別将来推計人口」国立社会保障・人口問題研究所(平成15年12月推計)より。



26. 学校施設等の概要（小学校）

（平成20年5月1日現在）

学校名	学級数		児童数 (人)	校長 教員数 (人)	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)		屋体面積 (㎡)		プール 設置の 有無	建築年度	大規模改造事 業実施年度	耐震基 準合致 の適否
	普通	特別 支援				木造	鉄筋造	木造	鉄筋造				
忍路中央	4	0	33	7	23,321		2,116	(586)	604		S55		
塩谷	6	1	(2) 140	11	86,941		4,616	(984)	999		S52, 55, 58, 59, 60, 61		
祝津	3	0	21	6	25,087		2,002	(726)	842		S63		○
高島	12	3	(6) 396	20	30,792		5,146	(979)	998	○	S55, 56, 58, H6		
幸	12	0	312	16	21,765		4,586	(745)	745	○	S46, 47, 50, 54, H元	H12, 13	
長橋	12	3	(4) 380	20	15,636	18	4,928	(850)	886		S53, 58		
北手宮	5	2	(2) 58	10	19,398	12	2,953	(575)	606		S53, 54, 56		
手宮西	6	1	(1) 123	11	33,538		4,023	(1,092)	1,092		H3, 4		○
手宮	6	0	126	10	(762) 12,885		4,439		705		S39	S62, H2, 3, 4, 5	
色内	6	2	(4) 140	13	11,859	15	3,832	(929)	1,092		S32, S59, H2	S63, H元	
稲穂	12	2	(2) 343	24	9,572		4,473	(1,040)	1,092		H7, H8		○
花園	6	3	(6) 176	15	12,556		4,260	(728)	756		S52, 54		
緑	6	2	(5) 184	13	(373) 11,910	33	4,368		734		S44, 45, 46		
最上	7	0	223	11	17,094		(10) 4,073	(1,114)	1,114		S61, 62		○
入船	6	2	(3) 178	12	25,664		(39) 3,535	(748)	780		S51, 52		
量徳	6	1	(1) 154	14	(104) 15,061		(15) 5,039	(876)	876		S36, 50		
奥沢	6	2	(2) 134	12	14,787	15	(76) 3,919	(756)	756		S51, 52		
天神	6	3	(4) 195	14	33,304	24	4,135	(765)	855		S54		
潮見台	6	1	(1) 162	11	10,975		5,087		997		S55, 56, 57		
若竹	6	2	(2) 141	12	19,079	12	(221) 3,162		615		S46, 47, 55		
桜	17	3	(4) 507	26	9,907		5,234		932		S41, 42, 49, 53, 54	H10	
望洋台	12	2	(2) 422	19	23,913		4,999	(1,023)	1,067		S58, 59, 63, H6		○
豊倉	4	0	41	7	5,646		(10) 1,100	(567)	841		S57, H2, 7, 17		○
朝里	19	4	(7) 610	31	12,685	61	6,412	(1,224)	1,224		S41, 42, 50, 51, 55, 57, 58, 59	H9	
張碓	6	1	(3) 61	10	17,187	23	(21) 1,482	(841)	841		H元, 2		○
桂岡	6	1	(1) 116	11	65,262		3,717	(900)	957	○	S51, 52, 54, 56, 57		
銭函	12	2	(2) 409	19	20,675		3,593	(1,114)	1,114		S63, H元		○
計	215	43	(64) 5,785	385	(1,239) 606,499	213	(392) 107,229	(19,162)	24,120	3			8

※児童・生徒の（ ）は特別支援学級児童・生徒数（外数） ※校地面積の（ ）は、借用地面積（内数） ※校舎・屋体面積の（ ）は、鉄骨造面積（内数）

※耐震基準合致の適否は、昭和56年の建築基準法改正以降の建築事業により判断した。

学校施設等の概要（中学校）

（平成20年5月1日現在）

学校名	学級数		生徒数 (人)	校長 教員数 (人)	校地面積 (㎡)		校舎面積 (㎡)		屋体面積 (㎡)		プール 設置の 有無	建築年度	大規模改造事 業実施年度	耐震基 準合致 の適否
	普通	特別 支援			木造	鉄筋造	木造	鉄筋造						
忍路	3		19	10	20,482	540	1,626	(621)	621		S36, 42, 47, 48			
塩谷	3		52	10	16,735	292	(47) 2,996	(618)	618		S37, 47, 48, 58, 63	H14		
長橋	12	1	(2) 373	23	32,503		5,437	(1,343)	1,343	○	S46, 47, 52, 57, 59, H4			
北山	7	1	(1) 221	15	33,297	11	(71) 4,349	24	(725)	725		S33, 34, 35, 36, 48, 56	S62, 63	
末広	6	1	(1) 194	14	(906) 27,700	12	4,096	(1,025)	1,043		S53, 55, 57			
西陵	6	1	(1) 185	14	28,314		4,111	(1,000)	1,024	○	S56, 57, 58, H2		○	
菁園	10	5	(16) 316	28	10,621		5,600	(1,237)	1,237		H14, 15		○	
松ヶ枝	7	1	(1) 218	14	36,188		(48) 4,998	(1,237)	1,237		S31, 34, 36, H3	S58, 59, H元, 2		
向陽	6	2	(3) 182	16	(2,573) 31,607		5,164	(1,136)	1,136	○	S60, 61, H3		○	
潮見台	6	2	(2) 184	14	19,905		3,582	(1,219)	1,237		S50, 51, H4	H12, 13		
桜町	9	1	(1) 265	18	(193) 18,648	33	3,904	(1,035)	1,047		S36, 37, 42, 57, 60	H5, 6, 7, 8		
望洋台	6	2	(2) 195	15	28,523		(65) 3,540	(1,184)	1,261		H元		○	
朝里	11	3	(6) 368	25	24,869	91	(633) 4,929	(1,000)	1,024		S35, 36, 38, 43, 51, 54, 57, 58, 59, 61	H11, 12, 13		
銭函	9	3	(4) 295	21	(6,767) 22,526	287	4,339	(996)	996		S53, 54, 55, 59			
計	101	23	(40) 3,067	237	(10,439) 351,918	1,266	(864) 58,671	24	(14,376) 14,549	3			4	

※児童・生徒の（ ）は特別支援学級児童・生徒数（外数） ※校地面積の（ ）は、借用面積（内数） ※校舎・屋体面積の（ ）は、鉄骨造面積（内数）
 ※耐震基準合致の適否は、昭和56年の建築基準法改正以降の建築事業により判断した。

27. 指定小中学校の区域一覧（小学校順）

指定小学校	区 域	指定中学校
忍 路 中 央	忍路1～3丁目	忍 路
	桃内1～3丁目	
	蘭島1～3丁目	
塩 谷	塩谷1～2丁目	塩 谷
	塩谷3丁目19番地～	
	塩谷4～5丁目	
祝 津	祝津1丁目4番地～	北山
	祝津2丁目(308, 344, 354, 355, 358～360, 364, 367～369, 371番地を除く)	北山
	祝津3～4丁目	北山
高 島	赤岩1丁目6～11番、18番～	北山
	赤岩2～3丁目	北山
	祝津1丁目1～3番地	北山
	祝津2丁目308, 344, 354, 355, 358～360, 364, 367～369, 371番地	北山
	高島1～3丁目	末広
	高島4丁目1～6番	末広
	高島4丁目7～14番	北山
	高島5丁目1～4番	末広
高島5丁目5番～	北山	
幸	オタモイ1丁目10番～	長橋
	幸1丁目	長橋
	幸2丁目8～18番、22番、25～27番	長橋
	幸3～4丁目	長橋
長 橋	旭町	長橋
	オタモイ1丁目1～9番	長橋
	オタモイ2～4丁目	長橋
	幸2丁目1～7番、19～21番、23番、24番	長橋
	塩谷3丁目1～18番地	長橋
	長橋1丁目18番～	長橋
	長橋2丁目15番～	長橋
	長橋3丁目1～17番、22番～	長橋
	長橋4～5丁目	長橋
北 手 宮	赤岩1丁目1～5番、12～17番	北山
	梅ヶ枝町12番～	北山
	清水町24番～	北山
	末広町27～33番	北山
手 宮 西	石山町	末広
	清水町1～23番	末広
	豊川町(3番、11番を除く)	末広
	長橋3丁目18～21番	末広
	錦町1～15番、20番	末広
手 宮	色内3丁目8～10番	末広
	梅ヶ枝町1～11番	末広
	末広町1～26番、34番～	末広
	高島4丁目15番	末広
	手宮1～3丁目	末広
	豊川町3番、11番	末広
	錦町16～19番、21番～	末広
色 内	稲穂4～5丁目	西陵
	色内2丁目5～8番、16番～	西陵
	色内3丁目1～7番、11番～	西陵
	長橋1丁目1～17番	西陵
	長橋2丁目1～14番	西陵

指定小学校	区 域	指定中学校
稲 穂	稲穂1丁目1～5番	菁園
	稲穂1丁目6～12番	西陵
	稲穂2～3丁目	西陵
	色内1丁目1～3番、8～14番	菁園
	色内1丁目4～7番、15番	西陵
	色内2丁目1～4番、9～15番	西陵
	塚町1～5番	菁園
	東雲町	菁園
	富岡1丁目1～32番	西陵
	富岡2丁目	西陵
	花園1～2丁目	菁園
	緑1丁目1～8番	西陵
	港町1番、6番、7番、9番、10番	菁園
	港町2～5番	西陵
	山田町1～4番	菁園
花 園	相生町	菁園
	入船2丁目1～19番	菁園
	入船4丁目1～4番、28～35番	菁園
	入船5丁目1～4番、19番	菁園
	塚町6～8番	菁園
	花園3丁目1～17番、22番～	菁園
	花園4丁目	菁園
	花園5丁目3～10番	菁園
山田町5～8番	菁園	
緑	入船5丁目5～18番	菁園
	富岡1丁目33番～	西陵
	花園5丁目1番、2番	菁園
	緑1丁目9～15番、28～31番	西陵
	緑1丁目16～27番	松ヶ枝
	緑2丁目	松ヶ枝
	緑3丁目1～11番	西陵
	緑3丁目12番、13番	松ヶ枝
	緑4丁目	西陵
最 上	天狗山1～2丁目	松ヶ枝
	松ヶ枝1丁目1～4番	松ヶ枝
	松ヶ枝2丁目1～4番、22番～	松ヶ枝
	緑3丁目14番～	松ヶ枝
	緑5丁目1番、2番	松ヶ枝
	最上1～2丁目	松ヶ枝
入 船	入船2丁目20番～	菁園
	入船3丁目	菁園
	入船4丁目5～27番	菁園
	入船5丁目20番～	菁園
	奥沢3丁目6番	菁園
	奥沢4丁目1番、2番	菁園
	松ヶ枝1丁目5番～(36番を除く)	松ヶ枝
	松ヶ枝1丁目36番	菁園
松ヶ枝2丁目5～21番	松ヶ枝	
量 徳	有幌町	潮見台
	入船1丁目	菁園
	住ノ江1～2丁目	菁園
	住吉町1～10番	菁園
	住吉町11番～	潮見台

指定小学校	区 域	指定中学校
(量徳続き)	信香町	潮見台
	花園3丁目18～21番	菁園
	港町8番	菁園
	若松1～2丁目	潮見台
奥 沢	奥沢1丁目	潮見台
	奥沢2丁目	向陽
	奥沢3丁目1～5番、7番、9～21番、27～29番	向陽
	真栄1丁目8番～	向陽
	真栄2丁目	向陽
天 神	奥沢3丁目8番、22～26番、30番～	向陽
	奥沢4丁目(1番、2番を除く)	向陽
	奥沢5丁目	向陽
	天神1～4丁目	向陽
潮 見 台	勝納町	潮見台
	潮見台1～4丁目	潮見台
	新富町	潮見台
	築港5～10番	潮見台
	真栄1丁目1～7番	潮見台
若 竹	築港1～4番、11番～	潮見台
	若竹町1～9番、27～34番	潮見台
	若竹町10～26番、35番～	桜町
桜	桜1～2丁目	桜町
	桜3丁目1～6番、18～21番、23番	桜町
	桜4丁目1～3番、6番	桜町
	桜5丁目1～19番、23番～	桜町
	船浜町	桜町
望 洋 台	桜3丁目7～17番、22番、24番、25番	望洋台
	桜4丁目4番、5番、7～10番	望洋台
	桜5丁目20～22番	望洋台
	望洋台1～4丁目	望洋台
豊 倉	朝里川温泉1～3丁目	朝里
朝 里	朝里1～4丁目	朝里
	桜3丁目26番	朝里
	新光1～5丁目	朝里
	新光町	朝里
張 碓	張碓町	銭函
	春香町	銭函
桂 岡	桂岡町	銭函
	銭函1丁目1～10番、12番、30番～	銭函
銭 函	銭函1丁目11番、13～29番	銭函
	銭函2～5丁目	銭函
	星野町	銭函
	見晴町	銭函

(参考) 小学校と中学校の区域の関係

小学校	→	1つの中学校	20校
	→	2つの中学校	6校
	→	3つの中学校	1校

中学校	→	1つの小学校	3校
	→	2つの小学校	4校
	→	3つの小学校	5校
	→	4つの小学校	1校
	→	5つの小学校	1校

28. 小規模校に関する他都市等の検討内容等

都市等名	比較の項目	メリット	デメリット
帯広市	学習指導の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりの個性や特性に応じたていねいな指導ができやすい。 ・施設設備や教材教具の制約を受けにくいので、学習効果が上がりやすい。 ・授業や運動会、文化祭などの学校行事で、一人ひとりの児童が活躍する場を多く設定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えの積み上げによる集団思考が活発になりづらく、深まりを欠く傾向が生じやすい。 ・同一グループでの学習となるため評価が固定されやすく、学習意欲や競争心に問題が生じやすい。 ・総合的学習時間等における課題別活動や選択教科、部活動などの面で選択の幅が小さく、制約を受けやすい。 ・運動会等の学校行事で一人ひとりの活躍の場が多い反面、内容に限りがあり、個人の負担が大きい。
	児童生徒の生活面の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、教師、保護者を含めて、お互いをよく知り、より深い結びつきができる。 ・学級の人間関係が深まり、話し合いや計画、実践が円滑に進行しやすい。 ・全教職員が全校の児童一人ひとりの特性、家庭環境等を把握しやすく、指導を行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係が固定化・序列化しやすく少数の言動が集団を左右しやすい。また、いじめの影響が後年時まで残りやすい。 ・学級のルールや価値観が固定されがちになり、多様なものの見方・考え方を学んだり、新しいルールや学級文化、人間関係を作り上げようとする機会が少なくなる。 ・教師に依存する傾向が強くなりやすく、主体性、自立性や社会性などが育ちにくい面がある。
	学校運営の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員ひとりの兼務が多くなるので視野が広がり、いろいろな経験を積みやすい。 ・教職員の人数が少ないため、校務について共通理解や協力が得られやすく、実践が徹底しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の配置が少ないため、校務分掌で個々の教職員の負担や時間的制約が大きくなる。 ・教職員の数が少ないため、緊急対応時などに他の教員による支援体制をとることが難しくなる。 ・学年や教科で複数の教員がいない場合、教員間での研修・研究の機会が少なくなる。 ・教員の数が少ないため、運動会等の学校行事の円滑な運営及び多様な教育活動にとって障害となる場合がある。
旭川市	教育面	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での発表の機会が多い。 ・児童会・生徒会活動や学校行事での活動の場が多い。 ・児童生徒相互の信頼関係や相互理解が深まる。 ・児童生徒一人ひとりを把握でき、個に応じた指導が充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えができないことにより、人間関係が固定化される。 ・教職員が過干渉になりやすく、児童生徒の自主性や自立性の発達に影響を及ぼすおそれがある。 ・クラブ・部活動が制限される。 ・中学校においては、選択履修幅の拡大に対応しづらい。 ・中学校においては、専門外の教員が教科を担当するなど、多学年、他教科を担当する教員が発生し、教材研究等授業準備が不十分になるおそれがある。
	組織・運営面	<ul style="list-style-type: none"> ・特別教室等の施設、設備が利用しやすい。 ・教職員間の連絡、調整が図りやすい。 ・教職員と保護者の人間関係が密になり、協力が得やすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の分担が多く、事務処理に追われる。 ・教職員数に余裕がなく、研修、出張等に制限が発生する。 ・学年1学級の場合、学年としての取組みを協議することが難しい。

都市等名	比較の項目	メリット	デメリット
北広島市	学習指導上から	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に直接関わる指導が行いやすく、学習面においては一人ひとりに目がゆきとどき、児童の発言・発表の機会も多くなる。 ・他学年間の交流が図られやすい。 ・児童会や学校行事などで、すべての児童に活動の場を与えることができる。 ・教職員が全校の児童の実態を把握することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習などの場合、発想や着眼点が固定化しやすく、また相互の考えを交流させて新たな着想を得るなどの発展的な学習が成立しにくい。 ・多様なグループやチームが編成しにくく、グループ学習や体育における団体競技種目、音楽における合唱や合奏活動が展開しにくくなる。 ・運動会や学芸会などの学校行事において、種目や演目が限定され、活気に欠けたり、一人ひとりの負担が大きくなったりしがちである。 ・友達との交流の機会が少なくなることにより、協調性や連帯感を培うことや社会性を育成することが難しくなる。 ・お互いに切磋琢磨し、向上しようとする意欲やたくましさを育てる点で心配がある。 ・クラブ活動において、多様な種類のクラブが開設しにくい。
	児童の生活面から	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの考え方や行動を理解しやすく、人間関係が深まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内、学級の人間関係が固定化し、集団内の人間関係から得られる刺激や情報量に限界が生じ、視野が狭くなりがちとなる。特に1学年1学級の場合、児童は卒業まで同一学級で過ごすことになり、学級内における人間関係が固定化する傾向にある。 ・教員が研修や出張などで学校を離れるときに、教員数が少ないために、自習の学級が多くなることや、放課後の児童生徒の活動が制限されることがある。
	学校運営上から	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設を余裕をもって使用できる。 ・指導指針について、全教職員の共通理解が図られやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人の教員が複数の校務を担当することになり、多忙化が懸念される。 ・教員の研修参加が時間の関係で難しくなる。 ・学年での打合せや教科の指導に関する協議の時間などがとりにくくなる。 ・教員に出張や年休があった場合、補教を組みにくく、授業に支障をきたす場合もでることが心配される。 ・修学旅行、移動教室で少数の教員が担当するため指導・管理が手薄になり、万一不測の事態が生じた場合、対応に苦慮することが心配される。
大阪府学校教育審議会答申(H10.5) 【学校規模の縮小化が教育に与える影響】	児童生徒に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもに役割が分担され、責任感やリーダーシップを養成する機会が多くなり、児童生徒一人ひとりの学校教育活動への参加意識や参加度が高くなる ・少人数であるがゆえに子ども同士や子どもと教職員との人間関係を密接に保つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに切磋琢磨する機会が少なくなり、子どもに社会性が育ちにくい。 ・学級の内外を問わず、幼児期から同一集団で日常生活を送ることにより、仲間意識が固定されやすく、集団内での評価が定まることから、子どもの自己変革への意欲が欠ける面がみられたり、遊びに活気がない、依頼心が強いなどの傾向もみられる。 ・教職員の指導が全校的に行き届く一方で、個々の児童生徒の自発的な活動が十分に育まれにくい懸念もある。
	学校運営に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が児童一人ひとりについて、その実態をよく知ることとなり、「個に応じた指導」の充実につながる。 ・子どもに関する教職員同士の相互理解や教員と保護者との人間関係が密接になる。 ・特別教室等の施設・設備の活用も、大規模校と比べて一層容易となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置される教職員数が少なくなるため、同一学年での複数教員による教材研究や教科指導の研鑽が行いにくい。 ・中学校においては、選択履修幅の拡大等のカリキュラムの編成や指導方法の工夫改善に取り組むことが困難になり、「個に応じた教育活動の展開」にとってはデメリットとなる懸念もある。 ・部活動の指導にあたる教職員数が不足したり、校務分掌において一人の教職員が複数の分掌を受け持つなどの課題もある。さらには、校外学習等において、一人の子どもにかかる費用の保護者負担が大きくなる。

都市等名	比較の項目	メリット	デメリット
甲府市	学習指導の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりの個性や特性に応じた、ていねいな指導がしやすい。 ・施設設備や教材教具の制約を受けにくいので、学習効果があがりやすい。 ・授業や運動会、文化祭、展覧会、学芸会などの学校行事で、一人ひとりの児童が活躍する場を多く設定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士での集団思考が活発になりにくく、深まりを欠く傾向が生じやすい。 ・全学年でいつも同じ級友と学習をすることになるので、評価も固定されやすく学習意欲や競争心に問題が生じやすい。 ・様々な学校行事において、参加人数や参加作品などが少なく、プログラムに限りがあり、児童の参加回数が多く負担も大きい。
	生徒指導の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、教師、保護者を含めて、お互いがよく知って、より深い結びつきができる。 ・全教職員が全校の児童一人ひとりの特性、家庭環境等を把握しやすく、指導が行き届く。 ・学級の間人間関係が深まり、話し合いや計画、実践が円滑に進行しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えがなく、人間関係が固定化されるので、人との関わりの中で多様なものの見方、考え方にふれる機会が少ない。 ・教師に依存する傾向が強くなりやすく、主体性、自立性や社会性などが育ちにくい面もある。また、特定の児童の言動が集団に与える影響が大きい。 ・少人数の中では児童会等のリーダーを得にくかったり固定化されたりする傾向にある。
	学校経営・運営の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員ひとりの兼務が多くなるので視野が広がったり、いろいろな経験を積みやすい。 ・校務について、分掌した教職員独自の考えで計画し、遂行しやすい。 ・教職員の人数が少ないため、校務について共通理解や協力が得られやすく、実践が徹底しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校規模にかかわらず学校運営に必要な校務分掌、組織は変わらないので、教員の学校運営上の負担が大きい。 ・国や県の基準では、専科等の教員の配置が少なく、教育課程の弾力的な運営が困難になる。 ・教職員の人数が少ないため、運動会、校外学習等の学校行事の円滑な運営及び多様な教育活動にとって障害となる場合もある。
青森市	人との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども相互の信頼関係や相互理解が強くなる。 ・子ども一人ひとりを把握しやすい。 ・教職員と保護者の人間関係が密になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交友関係が固定化しやすい。 ・活気に乏しい。 ・切磋琢磨が今一步である。 ・序列化され良い意味での競争心が育ちにくい。
	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた配慮ができる。 ・教材教具が活用しやすい。 ・施設・設備を余裕をもって使用できる。 ・指導が徹底しやすい。 ・学校行事等での活動の場が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合いの場が持ちにくい。 ・学校図書、教材教具等の種類が少ない。 ・クラス替えができない。 ・クラブ等の数が限定される。 ・学校行事等での役割が固定化する。
	教員の組織・学校運営面	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間の相互の連携が密になる。 ・意思疎通が図りやすい。 ・業務と責任が明確になる。 ・指導方針などがまとまりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科数を満たす教員数の確保が難しい。 ・校務分掌が多く、事務処理に追われる。 ・新任・若手教員の育成が難しい。 ・教員の創意工夫に限りがある。
東京・北区	通学	<ul style="list-style-type: none"> ・通学区域が狭いので、通学距離、通学時間が短く児童生徒の負担が軽い。 ・通学上の危険が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学班が編成しにくい。
	学校生活・教育効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりに目が行き届く。 ・家族的な暖かさや信頼関係を築ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同一グループでの学習となるため評価が固定されやすく、学習意欲や競争心に問題が生じやすい。 ・多くの教員、多くの友人の中で多様な人間関係を体験することができない。 ・クラス替えがないと人間関係が固定化しがちであ ・児童生徒同士で切磋琢磨する機会が少ない。 ・学校職員定数配置基準により、教員が欠ける可能性がある。 ・ティームティーチングや様々な少人数学習が導入できない。 ・中学校における選択科目の拡大に対応できない。 ・教員の校内研修が活性化できない。 ・一人の教員が多くの校務分掌を担うなど、教員の学校運営上の負担が大きい。 ・中学校では、部活動に十分な選択肢を提供できない。
	学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にゆとりができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設維持費、光熱水費などの管理費をはじめとして児童生徒の一人あたりの経費が割高になる。

都市等名	比較の項目	メリット	デメリット
東京・中野区	プラス面	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が児童生徒全員について細部にわたって把握することが可能となり、行き届いた指導を進めることができる。 ・児童生徒の学習発表の機会や活動の場面が増える。 	
	教育指導面		<ul style="list-style-type: none"> ・相互に刺激し合うという集団生活の良さが生かされにくくなり、クラス全体や学年の活気が低下する。 ・児童生徒の暗黙の序列が生じるとともに、児童生徒個人に対する評価が固定化する。 ・一定の集団を必要とする音楽の合唱・合奏、体育などの集団競技の教科の学習に支障が生じてくる。 ・中学校において生徒の希望する部活動、選択教科の設置が、員数の不足から困難になってくる。 ・特に単学級の場合、学級の編成替えができないため、人間関係が固定され、異なった集団の中で新たな自分を発見する機会が少なくなる。また、学級間の協力や良い意味での競争意識も育ちにくくなる。
	教職員の研究・研修活動面		<ul style="list-style-type: none"> ・国や県の基準では、専科等の教員の配置が少なく、教育課程の弾力的な運営が困難になる。 ・教員相互の融通がつけにくくなるため、外部研修が受けづらくなる。 ・教員同士の啓発、切磋琢磨が困難になる。 ・特に単学級の場合、相互に協力した学年運営ができなくなり、若手の教員が指導、助言を受ける機会が減少することにより人材の育成に影響がある。
	学校運営面		<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌は学校が小規模化しても変わらないため、少数の教員必要な校務を分掌せざるを得なくなる。このため、1人の教員の分担する業務量が増え、負担が過大になることから、その分、個別指導や教育相談にかける時間が減少する。 ・修学旅行、移動教室など宿泊を伴う行事の引率教員や連合行事等に対する教員の確保が困難になる。また、引率した教員が抜けることにより、学校に残る教員は極めて少ない人数で教育指導や安全確保にあたらなければならない、安全確保等に支障を来す恐れがある。 ・中学校の部活動の指導者や顧問の配置ができにくく、多様な部の設置が困難になる恐れがある。
東京・板橋区	学校教育の視点(学習面の特性)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりの個性や特性に応じた教育活動がしやすく、個々の能力や適性を伸ばしていきやすい。 ・授業や運動会、文化祭、展覧会、学芸会などの学校行事で、一人ひとりの児童が活躍する場を多く設定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数や参加作品などが少なく、プログラムに限りがあり、児童生徒の参加回数が多く負担も大きい。 ・学習活動で班編成する場合に、児童生徒が主体的に参加できる班の数が限られる。
	学校教育の視点(生活面の特性)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が一人ひとりの児童生徒の特性を把握しやすく、指導が行き届く。 ・児童生徒がお互いによく知り合え人間関係は深まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えがなく人間関係が固定化されるので、人との関わりの中で多様なものの見方、考え方にふれる機会が少ない。 ・児童生徒の教師に依存する傾向が強くなりやすく、主体性、自主性や社会性などが育ちにくい面もある。 ・人間関係が悪化した場合には、児童生徒の心理的負担が大きくなるきらいがある。 ・少人数集団では、人との関わりを持つ場面が多くなく、児童生徒の間で切磋琢磨する機会が少ない。 ・少人数のため、特定の児童生徒の言動が、集団に与える影響が大きい。
	(次ページへ続く)		

都市等名	比較の項目	メリット	デメリット
(東京・板橋区続き)	学校運営組織の視点		<ul style="list-style-type: none"> ・学校規模にかかわらず学校運営に必要な校務分掌、組織は変わらないので、教員の学校運営上の負担が大きい。 ・国や都の基準では、専科等の教員の配置が少なく、学習集団の弾力的な設定がしにくい。 ・教師の間で切磋琢磨しながら協力して、研究、研修する機会が少なくなる。 ・教師の人数が少ないため、運動会、文化祭、展覧会、校外学習等の学校行事の円滑な運営及び部活動、クラブ活動等の多様な教育活動の実施にとって障害となる場合もある。
東京・杉並区		<ul style="list-style-type: none"> ・校長の経営方針に基づく指導の成果が発揮しやすい。 ・教師が全校児童への理解やかかわりをもちやすい。 ・異学年交流を重視した教育活動により、全校的な児童の交流が深まる。 ・クラス替えがないので、互いの関係を深めていく学級づくりができる。 ・総合的に全校の児童・教職員の一体感が生まれやすい。 ・教室・体育館・校庭などに比較的余裕があり、活用しやすい。 ・密度の濃い全校的指導が可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめなど学級や学校生活上の不応児童に対する指導に教員数の余裕がない。担任外で担当する場合、教頭・校長がこれを担うことになる。 ・教師の指導が不十分であると、関係を深めた学級づくり、全校的な児童・教職員の交流ができなくなる。小規模の特徴が生かせなくなる。 ・校務分掌や地域社会との連携、教育委員会等への調査報告などで、教員一人当たりの役割が相対的に多くなる。
松戸市	小規模校の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・学級替えができない単学級では、人間関係の少数化、固定化などにより、現代の子どもたちが弱くなっていると考えられている新しい人間関係をつくる力、社会性、多様な見方や考え方を育成する面において問題が見られる。 ・児童生徒の適度な競争心が育ちにくく、切磋琢磨の気風、たくましが育ちにくい。 ・運動会等の集団活動(特に特別活動)での盛り上がり欠ける場合がある。 ・教員数の減少は、生徒が多様な教員と触れ合う機会を少なくする。 ・個々の児童生徒に応じた指導方法の多様化が求められる中、小規模校においては一定の制約が生じる。 ・中学校では、教員数が少ないことにより全教科の教員が得られないことや選択教科の選択履修の幅の制約が起きることが危惧される。また、部活動指導者の確保が難しく、部活動数が制約される。 ・教員同士の切磋琢磨や相互の研鑽に影響がある。 	
北海道	学校運営	<p>(強く見られる傾向)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の企画や運営の容易さ ・特別教室や体育館等の施設利用の自由度 ・保護者や地域が一体となった生徒指導 ・円滑で迅速な意思疎通など、教職員が一体となった学校運営 <p>(あまり見られない傾向)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年別や教科別の協議などの組織的な取組 ・学校ぐるみの生徒指導体制の構築 	
	教育活動	<p>(強く見られる傾向)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の子どもたちが一緒に取り組む活動を通しての存在感や責任感の高まり ・学校行事等における子どもたちの活躍の度合い <p>(あまり見られない傾向)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成を目指す学級編制替え ・個に応じた指導のための指導方法や体制の工夫 ・専門教科の教員の配置 ・選択教科の充実やクラブ活動、部活動の選択肢の確保 ・複数の教員による指導と評価 	
	その他	<p>(強く見られる傾向)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域が一体となった子どもたちの安全確保等の取組 ・PTA活動等の運営の容易さ <p>(あまり見られない傾向)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に対する多面的・多角的な評価 ・子どもたちの安全確保に対する組織的な取組 	

※平成19年8月「公立小中学校における標準的な学校規模の考え方」について(北海道教育委員会発行)より

29. 指定校変更・区域外就学状況（H17～H19）

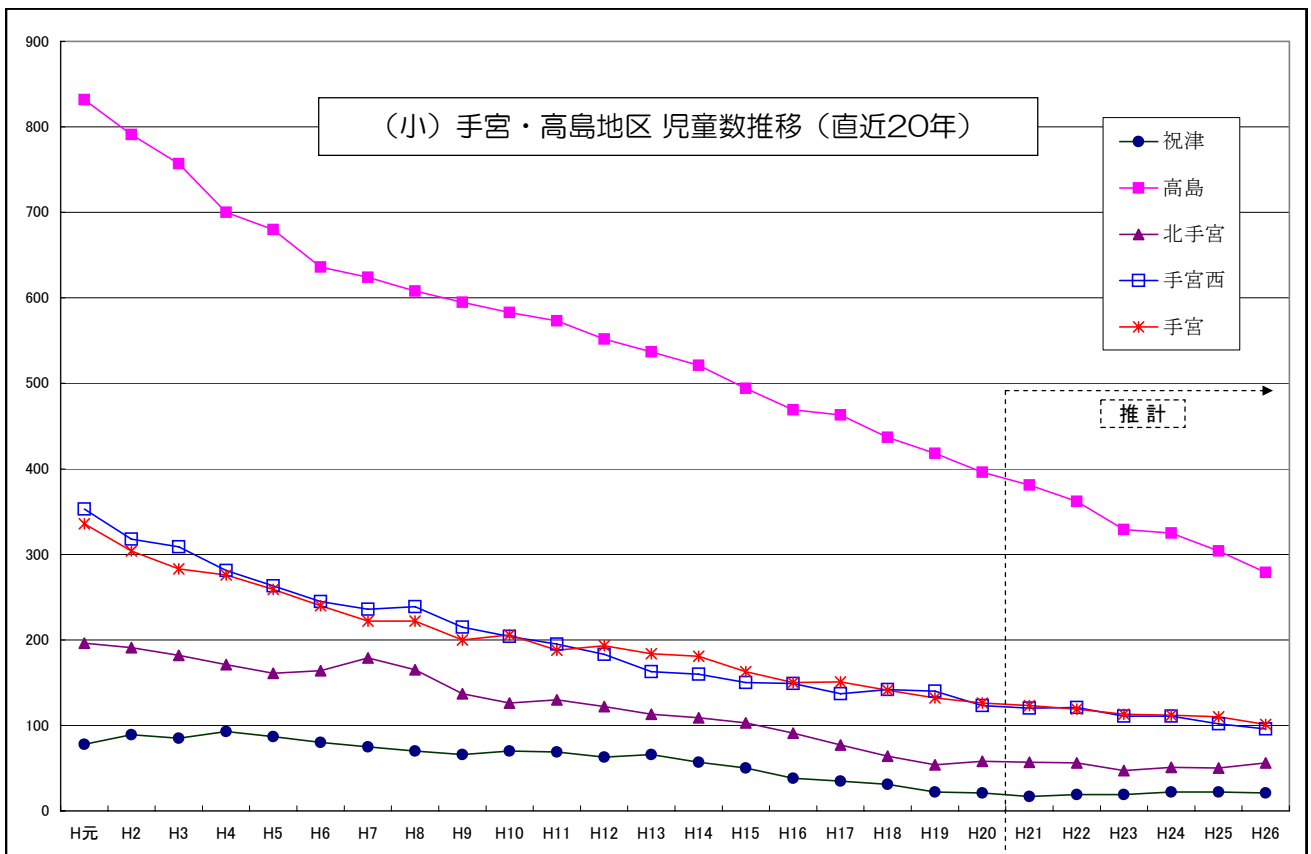
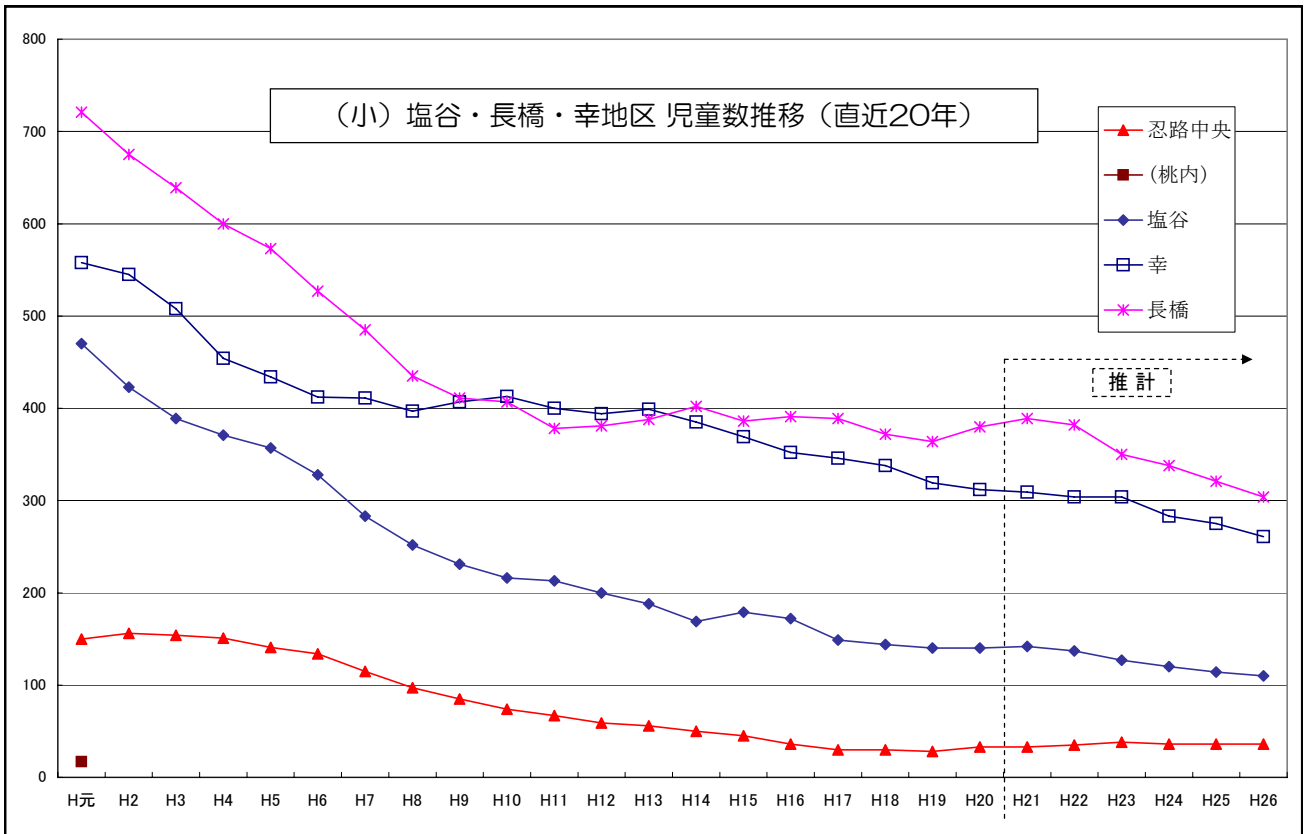
（小学校）

指定校	平成19年度		平成18年度		平成17年度	
	指定校 変更数	左のうち 地理的理由	指定校 変更数	左のうち 地理的理由	指定校 変更数	左のうち 地理的理由
忍路中央			1		5	
塩谷	4	1	8		5	
祝津	3	1	1		1	
高島	8		9	1	4	
幸	2		3	1	7	2
長橋	13	1	13	1	5	1
北手宮	14	4	6	4	7	2
手宮西	4		7	3	2	
手宮	4	1	4	2	9	
色内	7	2	5	2	11	
稲穂	14		26	1	10	
塚			0		10	2
花園	15	3	12	5	6	1
緑	11		10	5	16	4
最上	1		10		11	
入船	11	4	11	3	17	3
量徳	9		5	1	5	1
奥沢	6	1	10	1	4	
天神	3		5	2	5	2
潮見台	4		4	2	7	
若竹	3		6	1	3	
桜	11	1	17	8	19	4
望洋台	10		8		4	
豊倉			2		2	
朝里	9		8		2	
張碓			1		1	
桂岡	5		7	2	9	4
銭函			6		3	
計	171	19	205	45	190	26

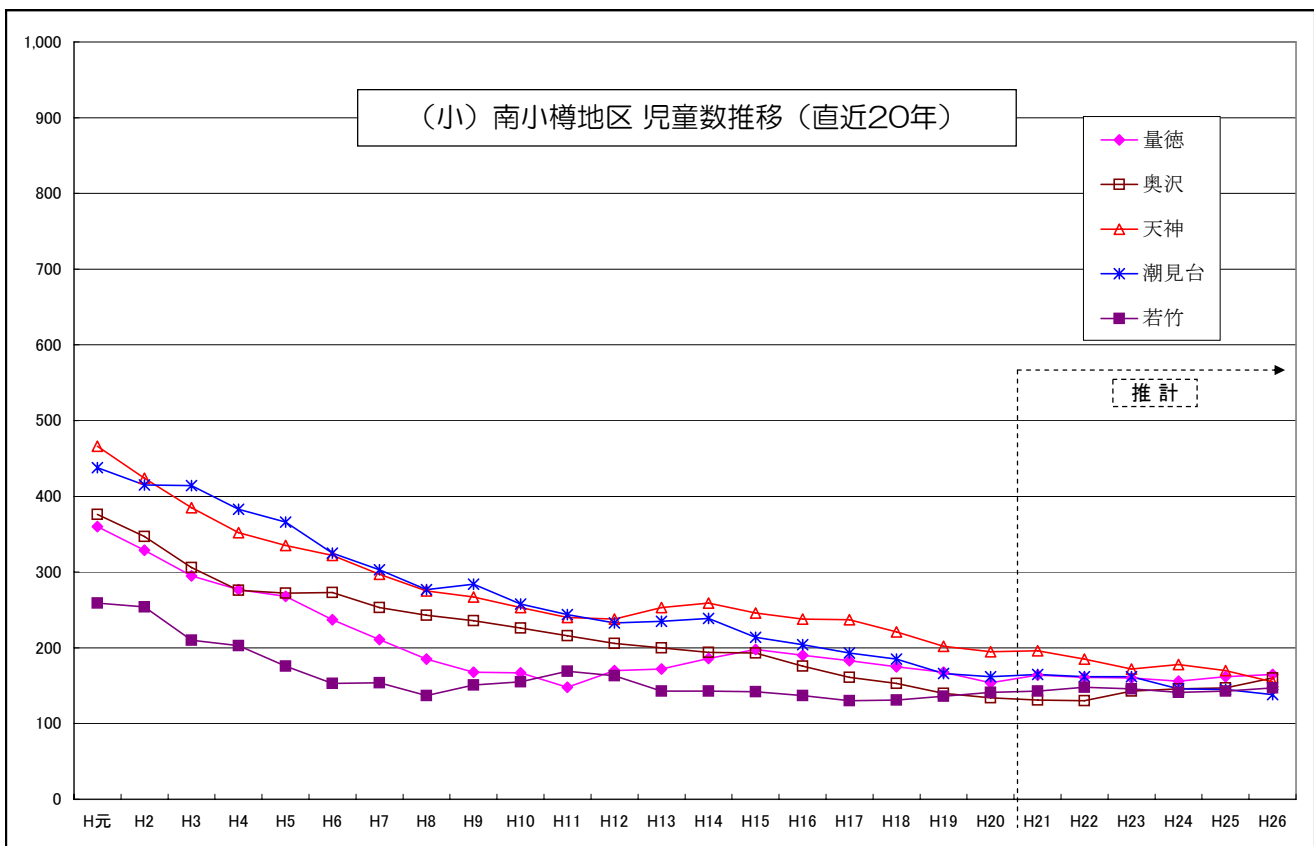
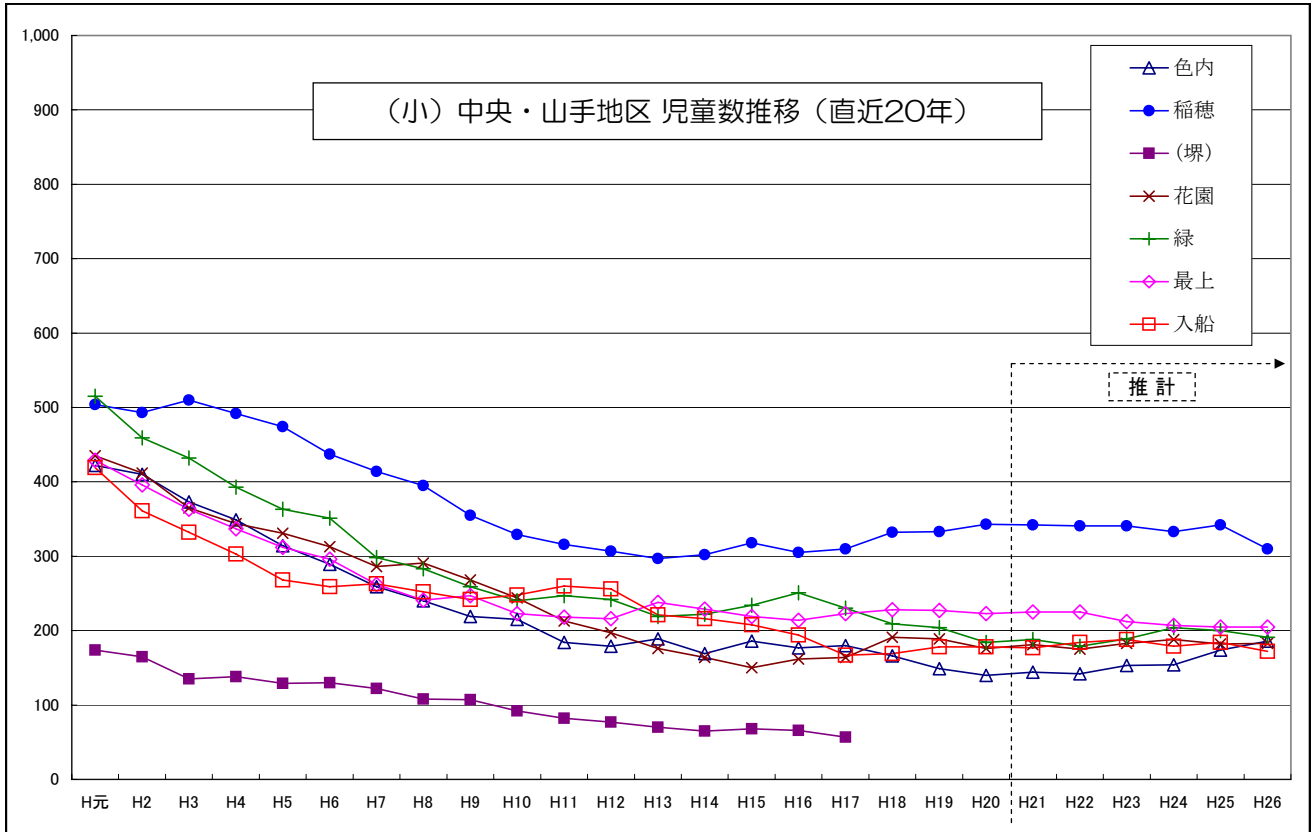
（中学校）

指定校	平成19年度		平成18年度		平成17年度	
	指定校 変更数	左のうち 地理的理由	指定校 変更数	左のうち 地理的理由	指定校 変更数	左のうち 地理的理由
忍路	1		3		3	
塩谷	7		5		4	
長橋	4		7		4	
北山	14	1	9	2	13	3
末広	9	1	5	1	5	
西陵	28	1	16	4	29	2
菁園	15	2	16	2	23	3
松ヶ枝	18		8		13	
向陽	9		8		13	1
潮見台	16	1	16	4	16	2
桜町	18	1	13	1	6	1
望洋台	4		16		6	
朝里	9	1	7	1	11	1
銭函	15		9		12	
計	167 (私立中49人含む)	8	138 (私立中50人含む)	15	158 (私立中44人含む)	13

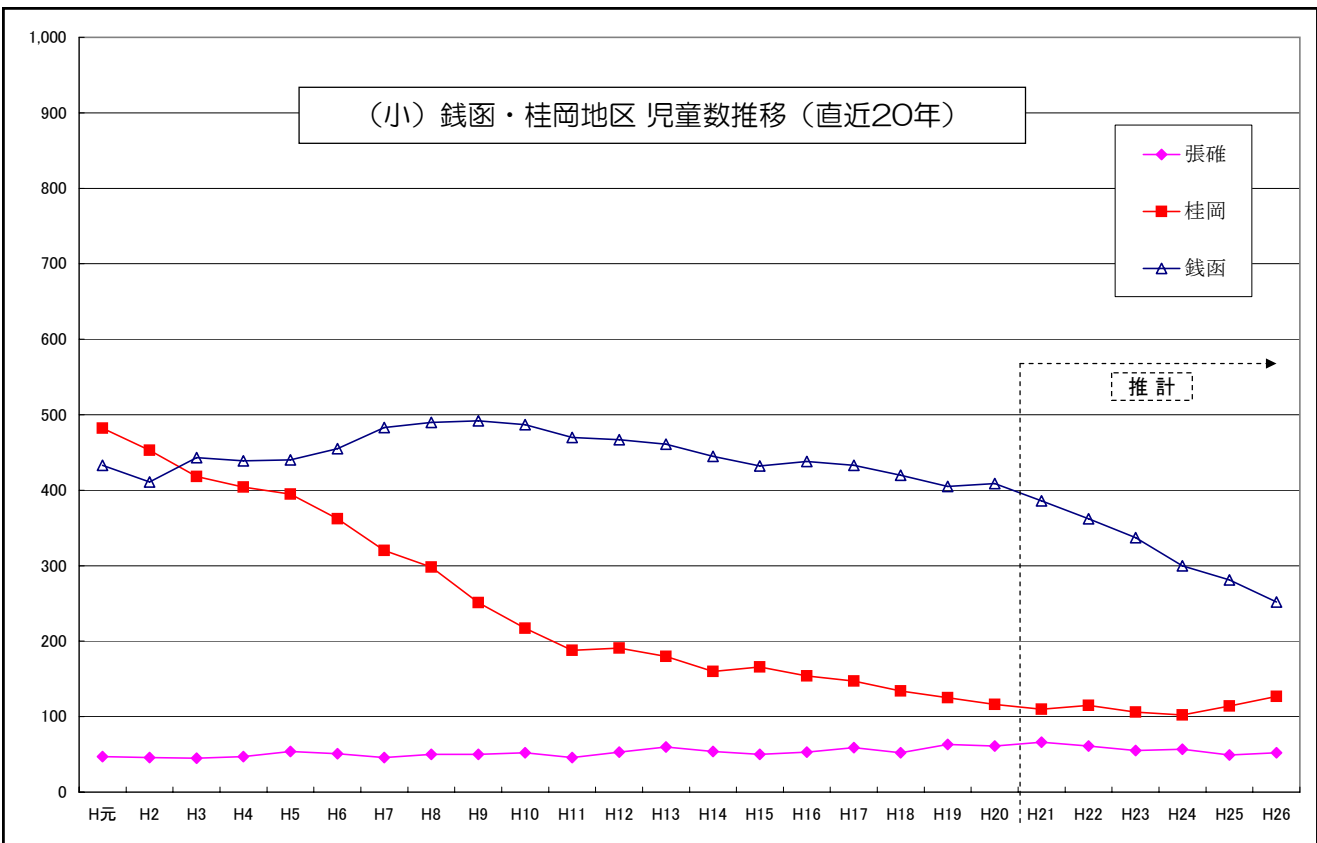
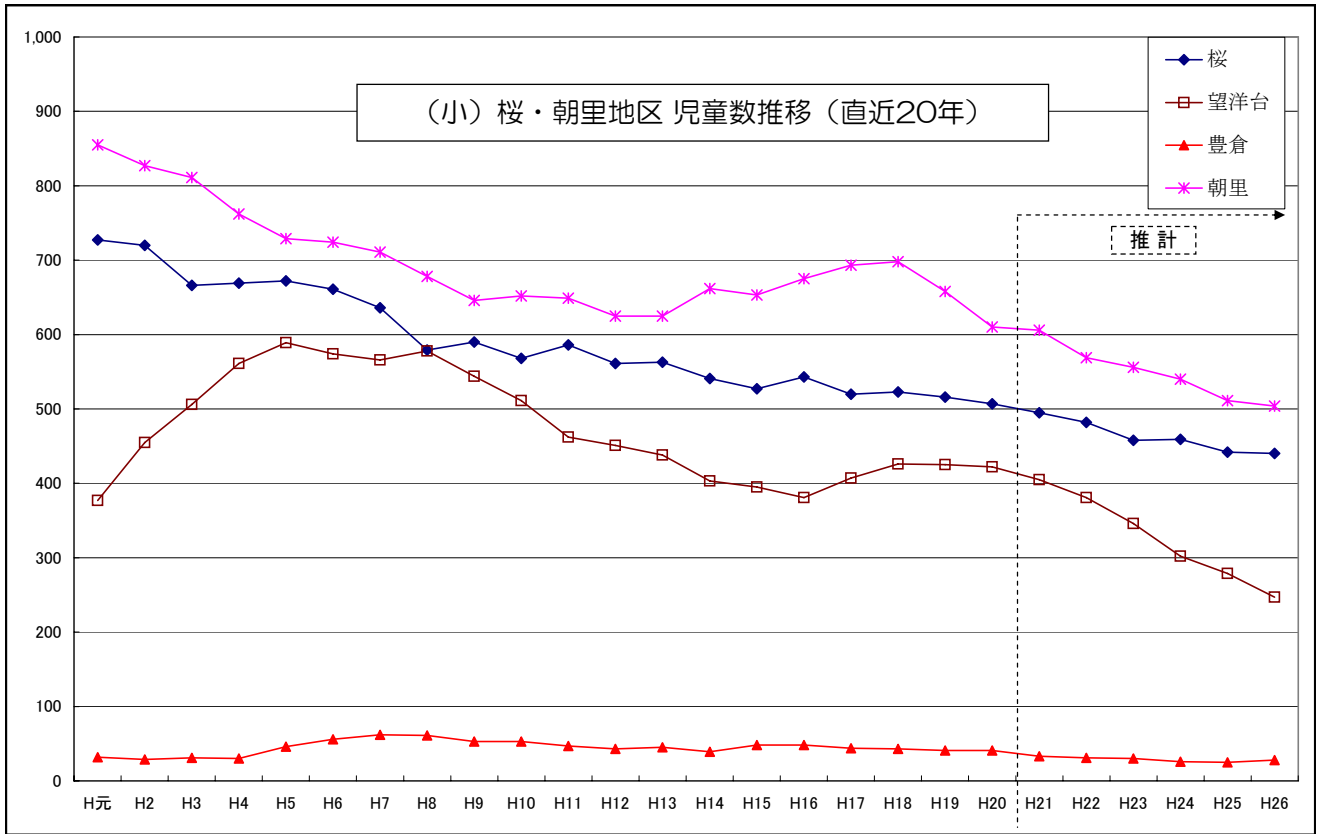
31. 地区別・学校別 児童生徒数推移（直近20年） No.1



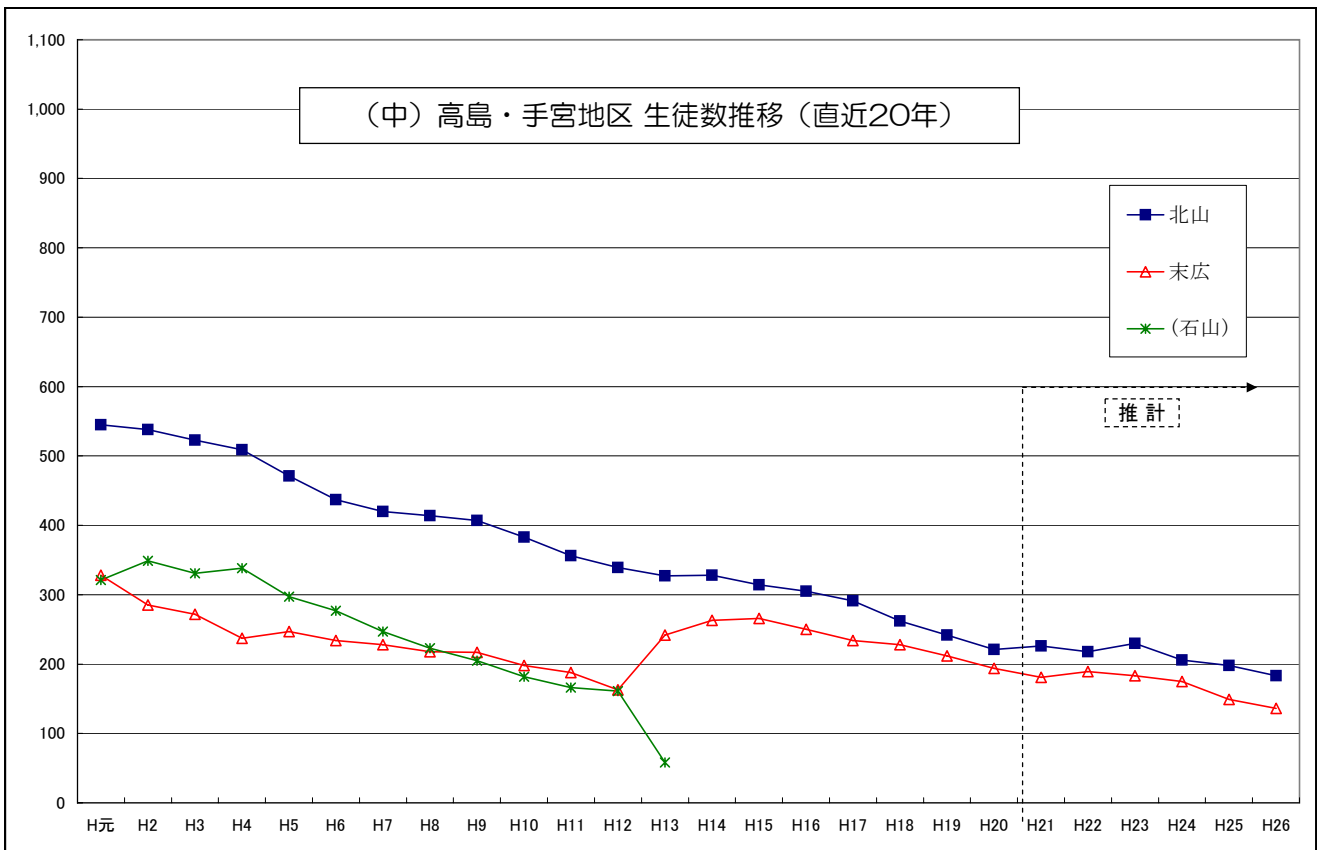
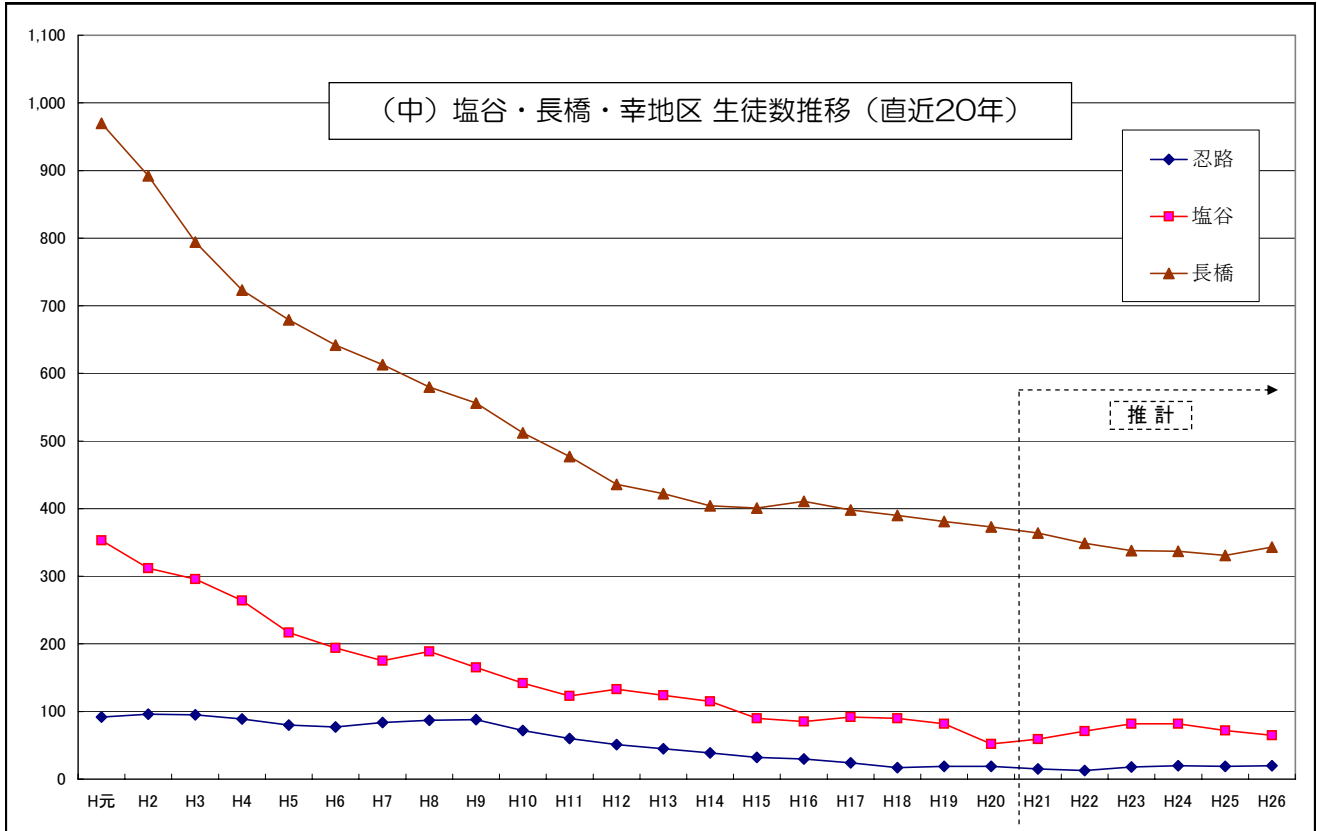
31. 地区別・学校別 児童生徒数推移（直近20年） No.2



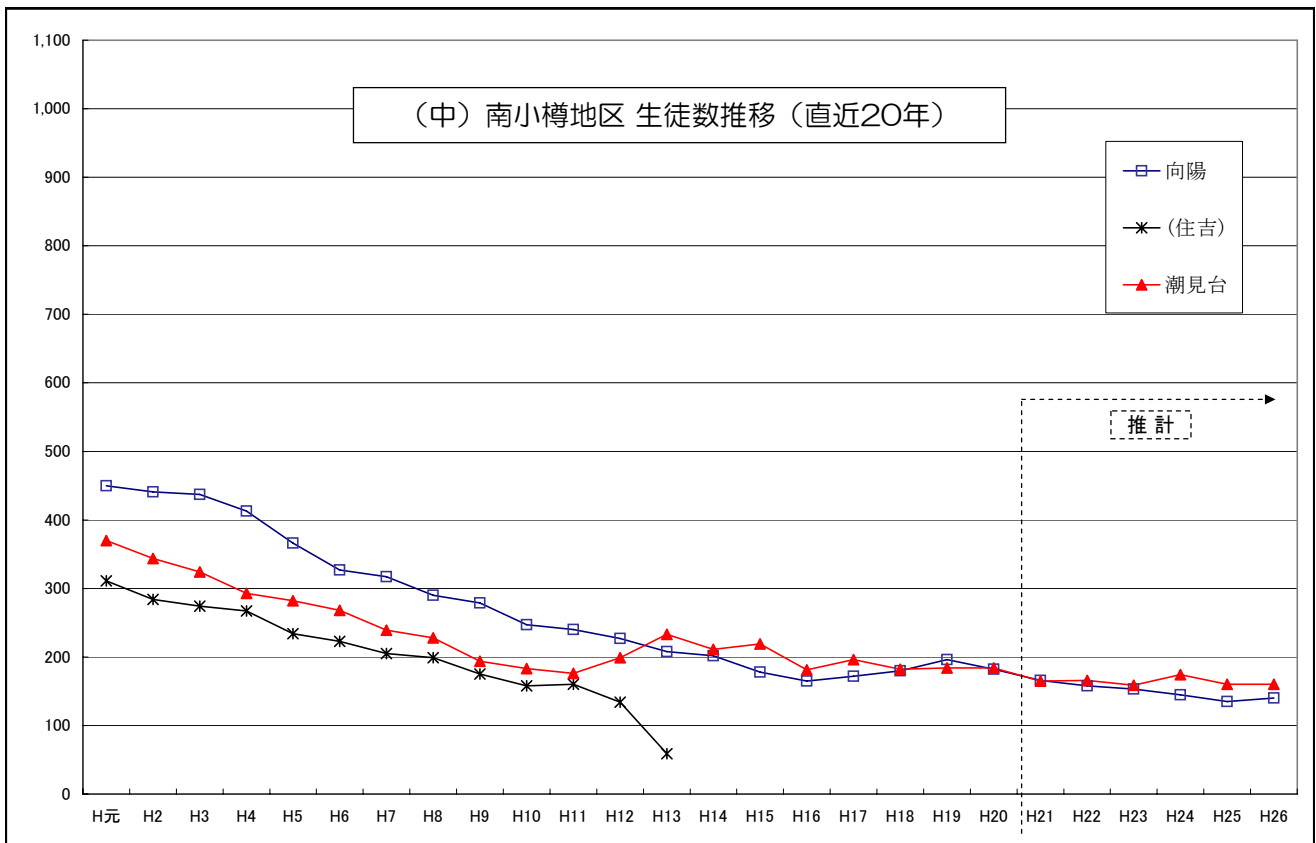
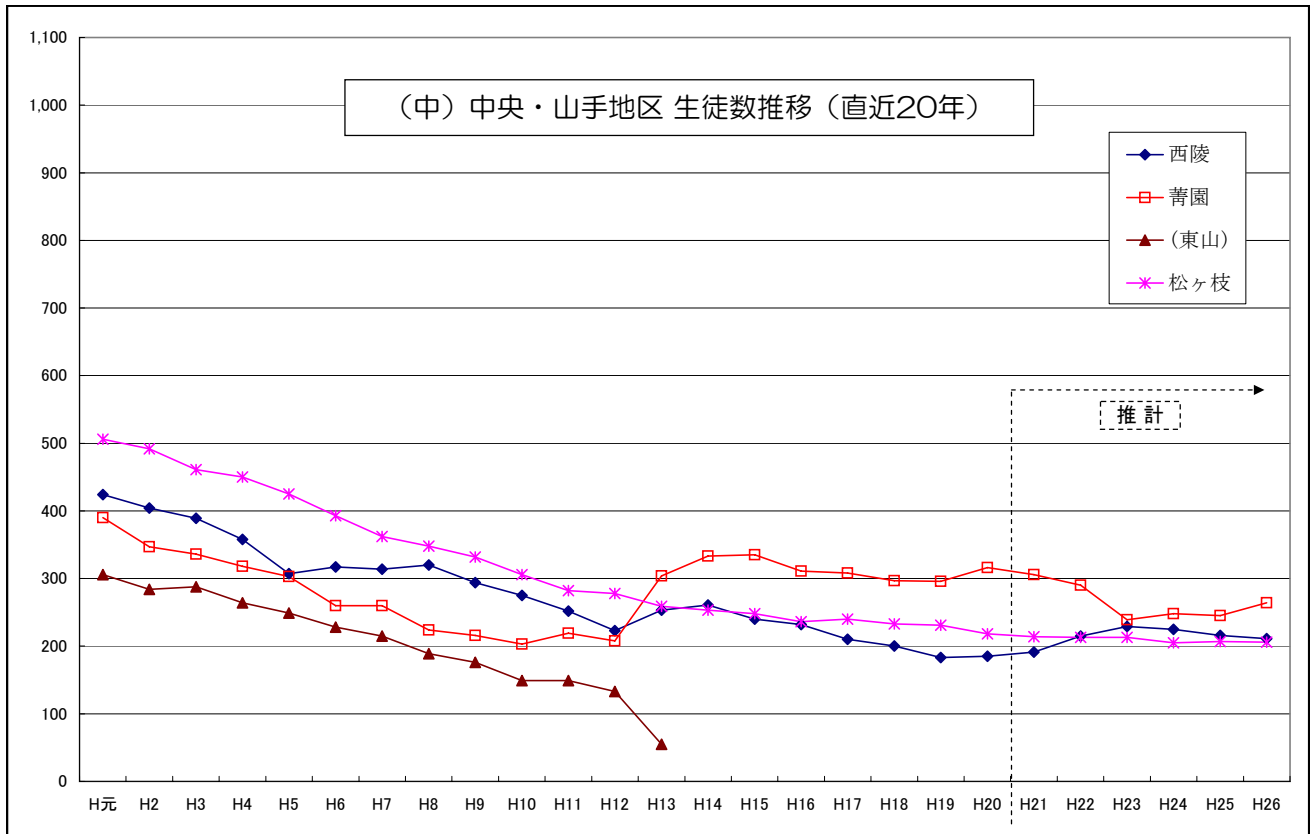
3.1. 地区別・学校別 児童生徒数推移（直近20年） No.3



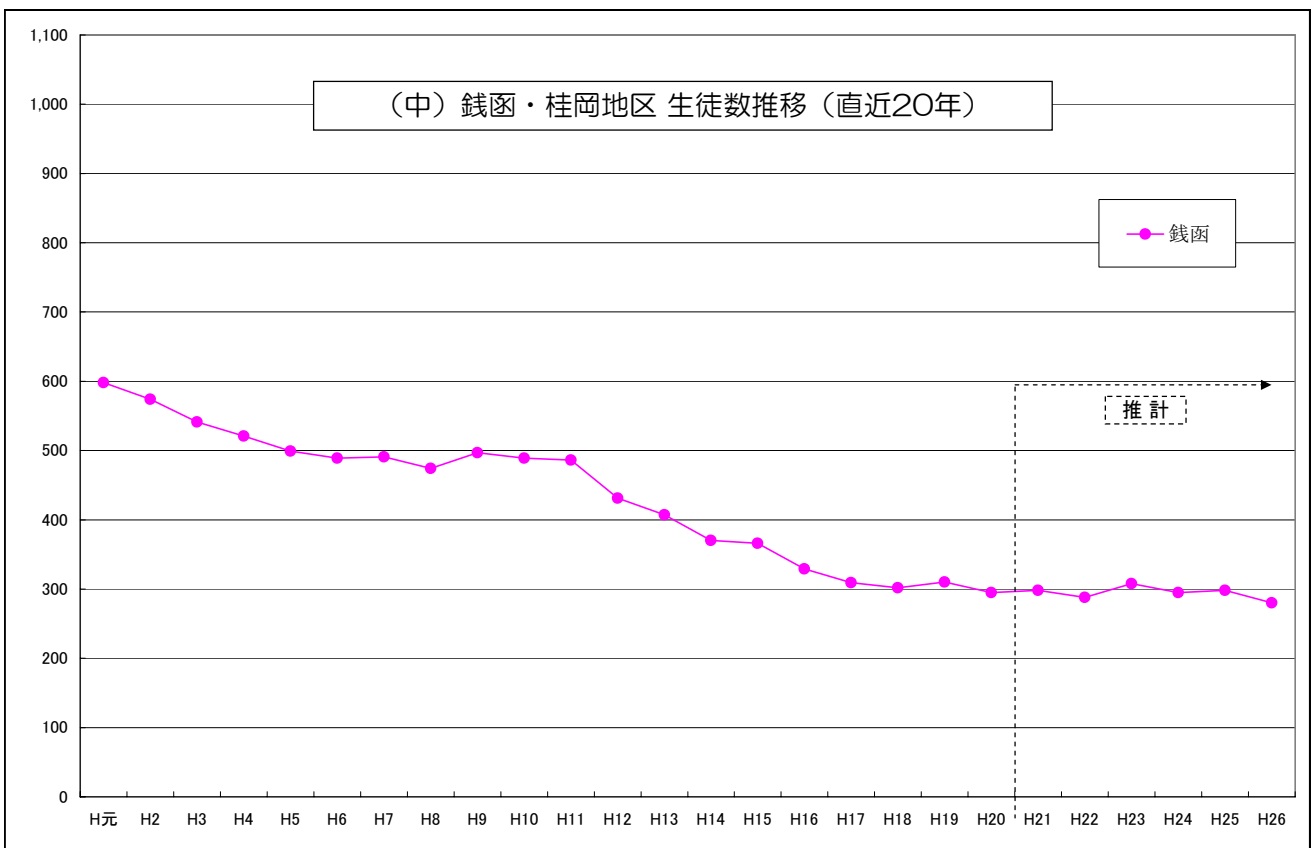
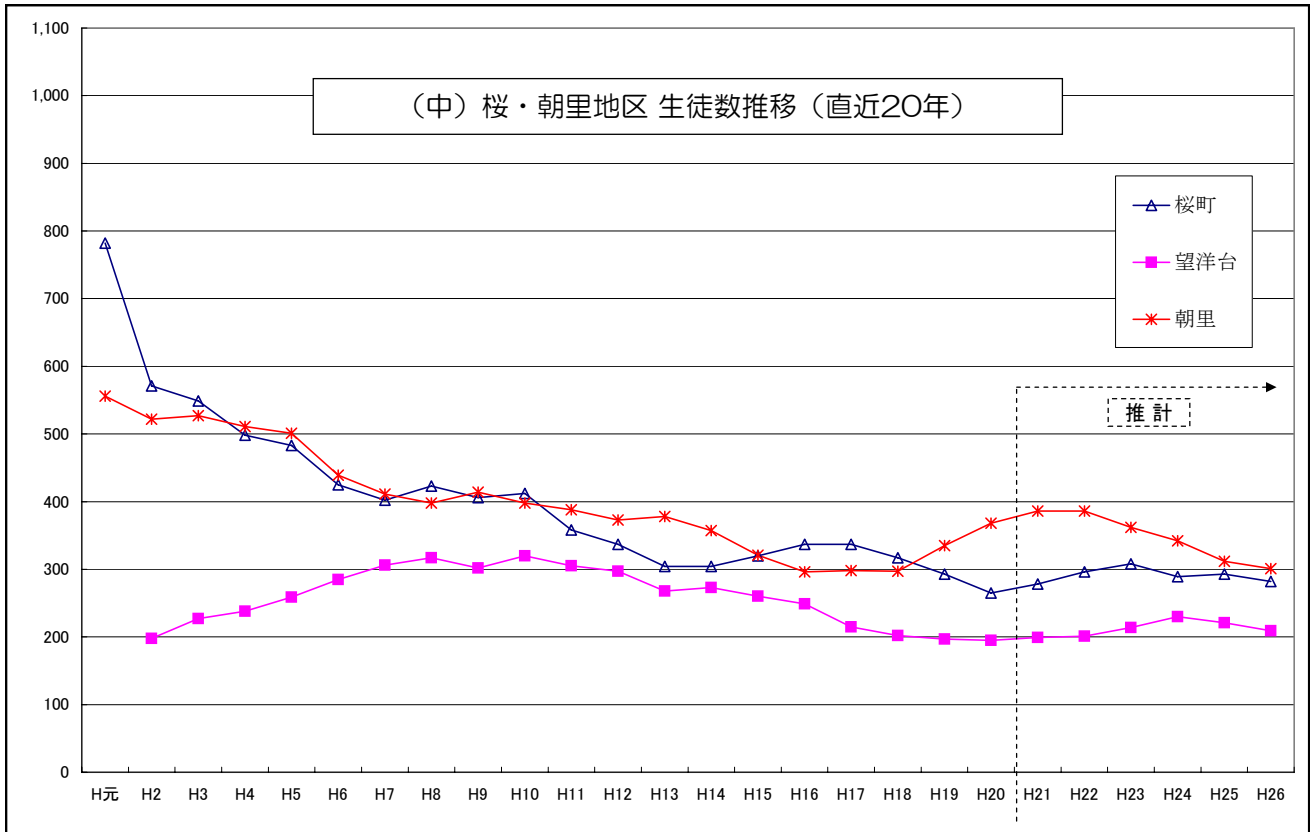
31. 地区別・学校別 児童生徒数推移（直近20年） No.4



31. 地区別・学校別 児童生徒数推移（直近20年） No.5



31. 地区別・学校別 児童生徒数推移（直近20年） No.6



32. 1学級当たりの児童生徒数の区分に応じた学級数とその割合

平成20年度（普通学級）

		1～9人	10～19人	20～24人	25～29人	30～34人	35～40人	計
小学校	学級数	9	23	36	51	65	31	215
	割合	4.2%	10.7%	16.8%	23.7%	30.2%	14.4%	
中学校	学級数	3	2	1	29	52	14	101
	割合	2.9%	2.0%	1.0%	28.7%	51.5%	13.9%	
小中の計	学級数	12	25	37	80	117	45	316
	割合	3.8%	7.9%	11.7%	25.3%	37.0%	14.3%	